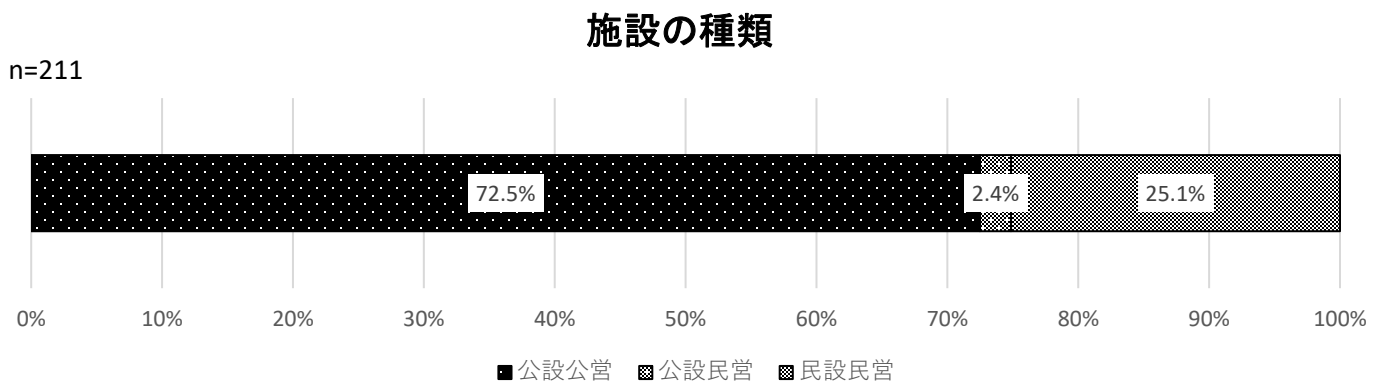
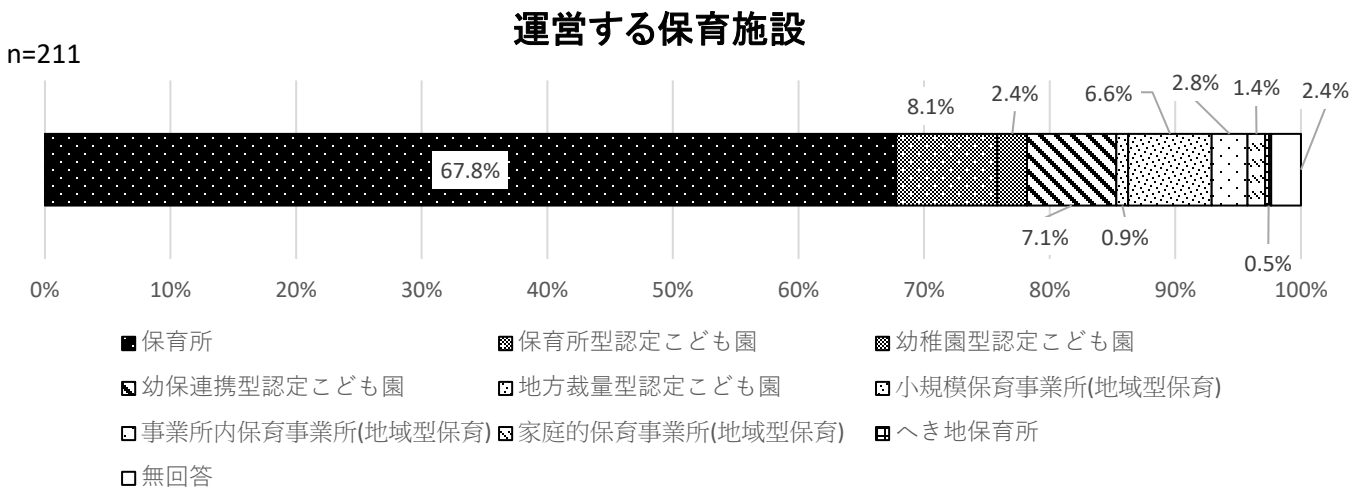
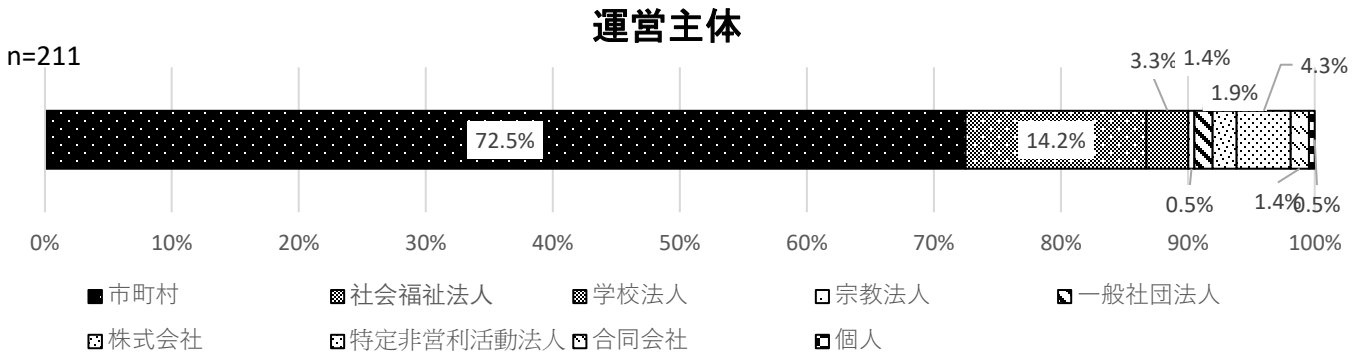


第Ⅲ章 保育所実態調査

(1)属性

Q1 貴施設の設置・運営主体の種類などについておうかがいします。

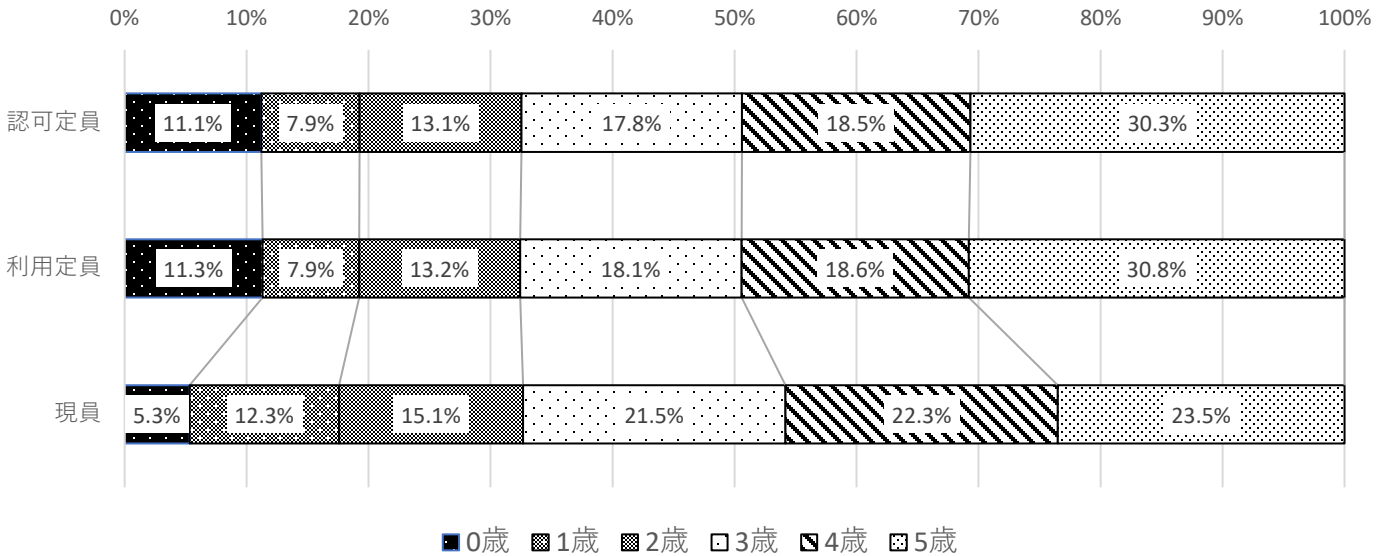


(2) 定員・現員について

Q2 貴施設の利用定員、現員とその内訳についておうかがいします。

※現員については、本年(R5)4/1現在の年齢区分における12/1現在の人数を記入してください。

定員・現員



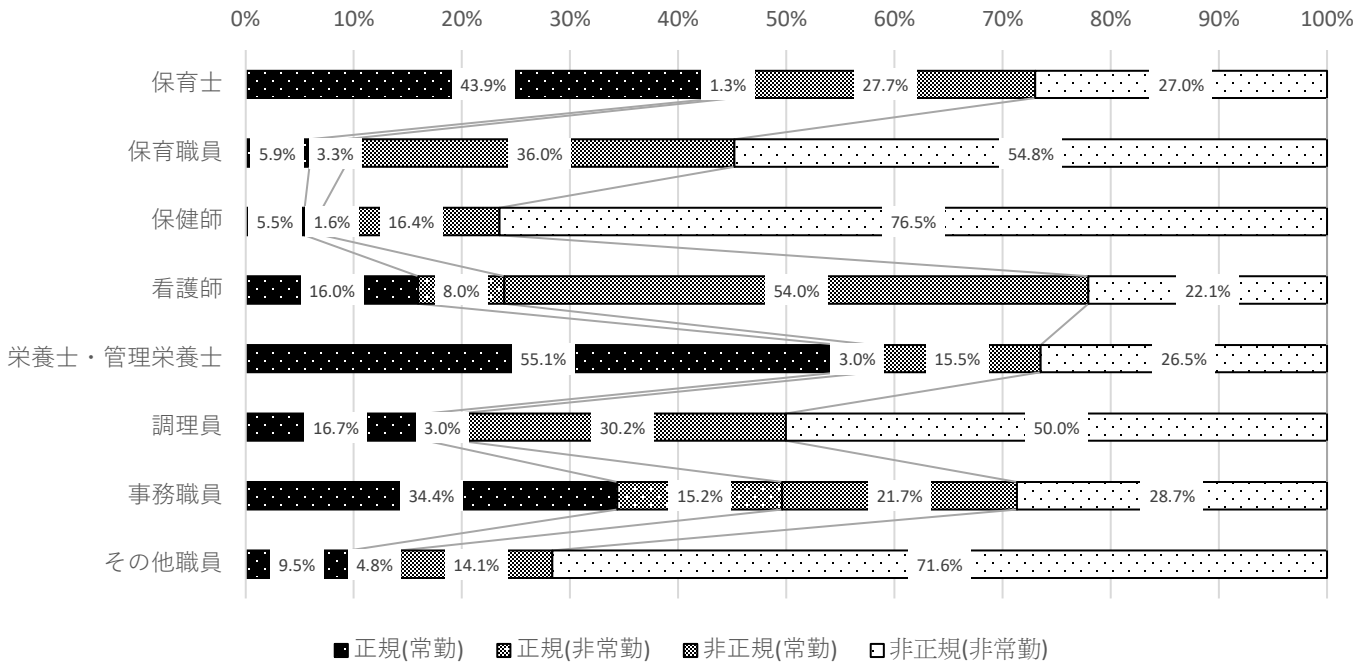
上段：実人員 下段：%	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
認可定員	2,275	1,633	2,694	3,662	3,801	6,219	20,544
	11.1%	7.9%	13.1%	17.8%	18.5%	30.3%	100.0%
利用定員	2,271	1,588	2,646	3,638	3,740	6,175	20,057
	11.3%	7.9%	13.2%	18.1%	18.6%	30.8%	100.0%
現員	847	1,945	2,393	3,413	3,543	3,729	15,870
	5.3%	12.3%	15.1%	21.5%	22.3%	23.5%	100.0%

(3)職員について

Q3 貴施設の職員体制についておうかがいします。各職種別の職員数をご記入ください。
 (複数施設を兼務している場合があるため1人以下の人数が生じている)

保育士は43.9%、栄養士・管理栄養士は55.1%と「正規・常勤」が最も多く、保育職員（保育補助者・保育支援者）、保健師、調理員、その他職員は「非正規・非常勤」が最も多く、看護師は「非正規・常勤」が最も多くなっている。

職種別職員体制



上段：実人員 下段：%	合計	正規 (常勤)	正規 (非常勤)	非正規 (常勤)	非正規 (非常勤)
保育士	3289.6	1445.6	44	912.2	887.8
	100.0%	43.9%	1.3%	27.7%	27.0%
保育職員 (保育補助者・保育支援者)	663.6	39	22	238.9	363.7
	100.0%	5.9%	3.3%	36.0%	54.8%
保健師	18.3	1	0.3	3	14
	100.0%	5.5%	1.6%	16.4%	76.5%
看護師	37.6	6	3	20.3	8.3
	100.0%	16.0%	8.0%	54.0%	22.1%
栄養士・管理栄養士	99	54.5	3	15.3	26.2
	100.0%	55.1%	3.0%	15.5%	26.5%
調理員	626.2	104.5	19	189.4	313.3
	100.0%	16.7%	3.0%	30.2%	50.0%
事務職員	131.2	45.1	20	28.5	37.6
	100.0%	34.4%	15.2%	21.7%	28.7%
その他職員	188.6	18	9	26.5	135.1
	100.0%	9.5%	4.8%	14.1%	71.6%

職種別職員体制(運営主体別)

【保育士】

上段：実人員 下段：%	合計	正規 (常勤)	正規 (非常勤)	非正規 (常勤)	非正規 (非常勤)
公設公営	2,436	995	21	782	638
	100.0%	40.8%	0.9%	32.1%	26.2%
公設民営	54	20	2	11	21
	100.0%	37.0%	3.7%	20.4%	38.9%
民設民営	800	431	21	119	229
	100.0%	53.9%	2.6%	14.9%	28.6%
合計	3,290	1,446	44	912	888
	100.0%	43.9%	1.3%	27.7%	27.0%

【保健師】

上段：実人員 下段：%	合計	正規 (常勤)	正規 (非常勤)	非正規 (常勤)	非正規 (非常勤)
公設公営	10.3	1	0.3	0	9
	100%	9.7%	2.9%	0.0%	87.4%
公設民営	1	0	0	0	1
	100%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
民設民営	7	0	0	3	4
	100%	0.0%	0.0%	42.9%	57.1%
合計	18.3	1	0.3	3	14
	100%	5.5%	1.6%	16.4%	76.5%

【保育職員（保育補助者・保育支援者）】

上段：実人員 下段：%	合計	正規 (常勤)	正規 (非常勤)	非正規 (常勤)	非正規 (非常勤)
公設公営	552.6	5	0	229.9	317.7
	100.0%	0.9%	0.0%	41.6%	57.5%
公設民営	7	0	0	0	7
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
民設民営	104	34	22	9	39
	100.0%	32.7%	21.2%	8.7%	37.5%
合計	663.6	39	22	238.9	363.7
	100.0%	5.9%	3.3%	36.0%	54.8%

【看護師】

上段：実人員 下段：%	合計	正規 (常勤)	正規 (非常勤)	非正規 (常勤)	非正規 (非常勤)
公設公営	25.6	3	2	14.3	6.3
	100.0%	11.7%	7.8%	55.9%	24.6%
公設民営	1	0	0	0	1
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
民設民営	11	3	1	6	1
	100.0%	27.3%	9.1%	54.5%	9.1%
合計	37.6	6	3	20.3	8.3
	100.0%	16.0%	8.0%	54.0%	22.1%

【栄養士・管理栄養士】

上段：実人員 下段：%	合計	正規 (常勤)	正規 (非常勤)	非正規 (常勤)	非正規 (非常勤)
公設公営	38	21.5	0	8.3	8.2
	100.0%	56.6%	0.0%	21.8%	21.6%
公設民営	4	1	1	0	2
	100.0%	25.0%	25.0%	0.0%	50.0%
民設民営	57	32	2	7	16
	100.0%	56.1%	3.5%	12.3%	28.1%
合計	99	54.5	3	15.3	26.2
	100.0%	55.1%	3.0%	15.5%	26.5%

【事務職員】

上段：実人員 下段：%	合計	正規 (常勤)	正規 (非常勤)	非正規 (常勤)	非正規 (非常勤)
公設公営	71.2	22.1	3	20.5	25.6
	100.0%	31.0%	4.2%	28.8%	36.0%
公設民営	2	2	0	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
民設民営	58	21	17	8	12
	100.0%	36.2%	29.3%	13.8%	20.7%
合計	131.2	45.1	20	28.5	37.6
	100.0%	34.4%	15.2%	21.7%	28.7%

【調理員】

上段：実人員 下段：%	合計	正規 (常勤)	正規 (非常勤)	非正規 (常勤)	非正規 (非常勤)
公設公営	515.2	85.5	11	167.4	251.3
	100.0%	16.6%	2.1%	32.5%	48.8%
公設民営	6	1	0	0	5
	100.0%	16.7%	0.0%	0.0%	83.3%
民設民営	105	18	8	22	57
	100.0%	17.1%	7.6%	21.0%	54.3%
合計	626.2	104.5	19	189.4	313.3
	100.0%	16.7%	3.0%	30.2%	50.0%

【その他職員】

上段：実人員 下段：%	合計	正規 (常勤)	正規 (非常勤)	非正規 (常勤)	非正規 (非常勤)
公設公営	142.6	2	2	22.5	116.1
	100.0%	1.4%	1.4%	15.8%	81.4%
公設民営	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
民設民営	46	16	7	4	19
	100.0%	34.8%	15.2%	8.7%	41.3%
合計	188.6	18	9	26.5	135.1
	100.0%	9.5%	4.8%	14.1%	71.6%

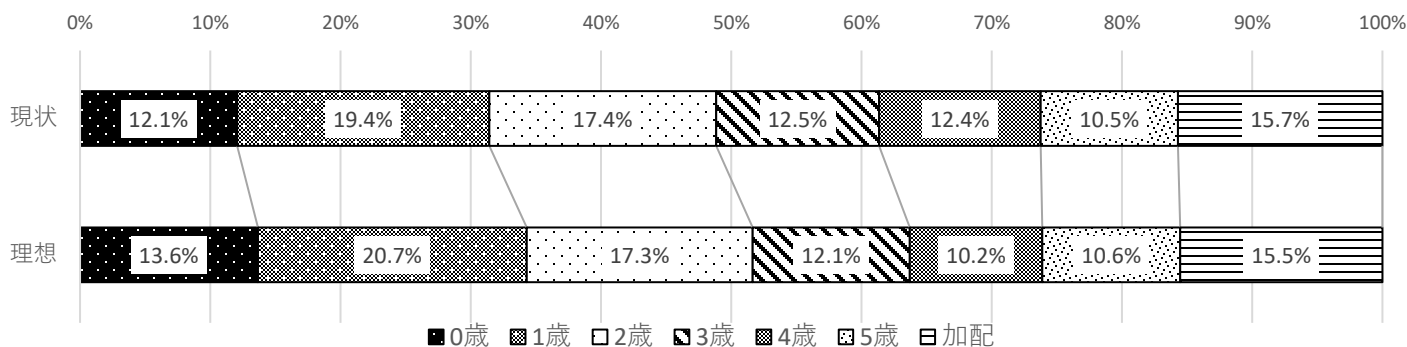
Q4 現状の保育士の人数と、理想の保育を行うために必要な保育士の人数をご記入ください。

※年齢ごとの区別がない場合は、合計の欄に人数をご記入ください。

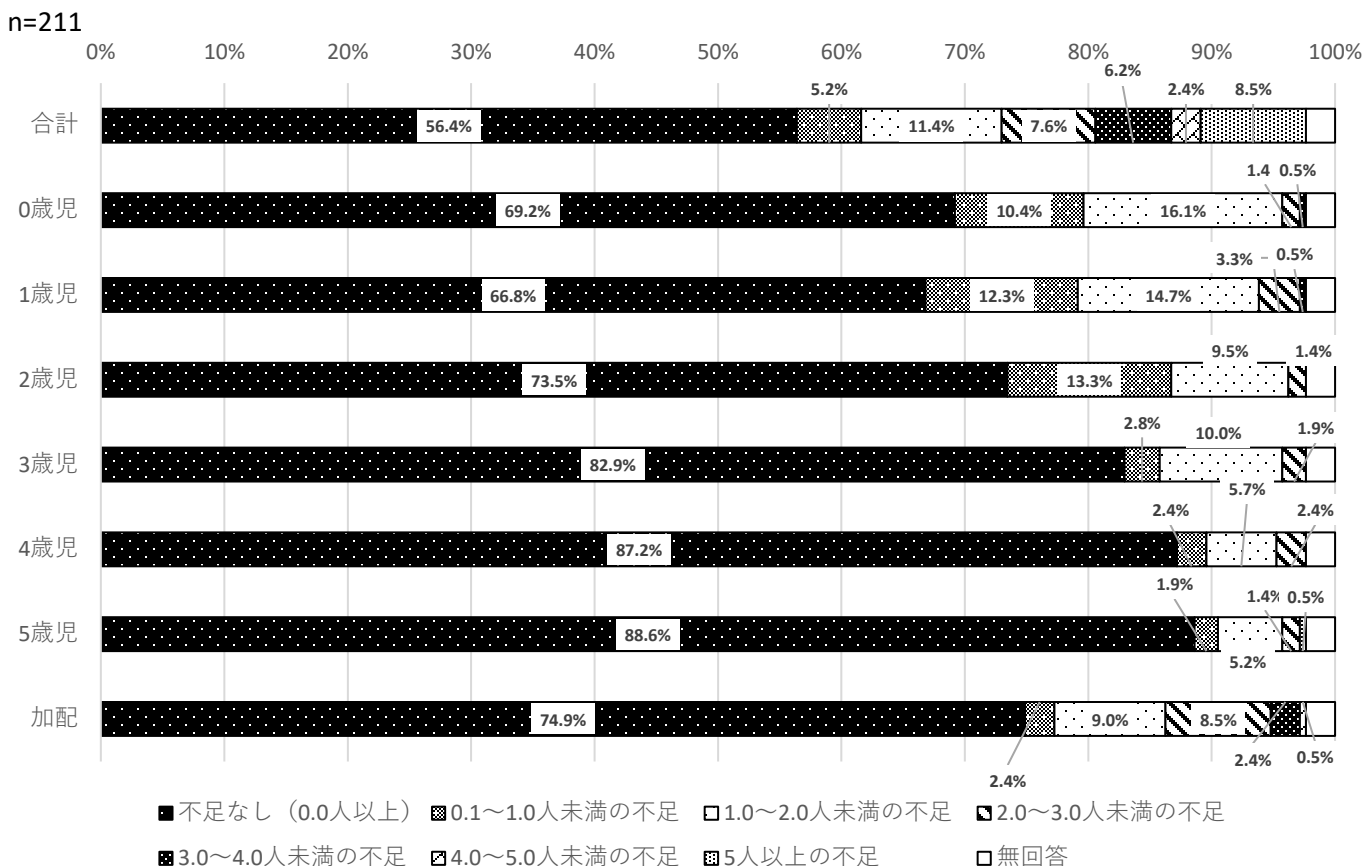
※非常勤職員がいる場合は、常勤換算による人数をご記入ください。(小数点第2位を切り捨て)

(常勤換算による人数=非常勤職員の1か月の勤務時間の合計÷各施設が定める1か月の所定労働時間)

現状の保育士数と理想の保育士数は「0歳児」「1歳児」において理想の保育士数が現状の保育士数を上回っている。

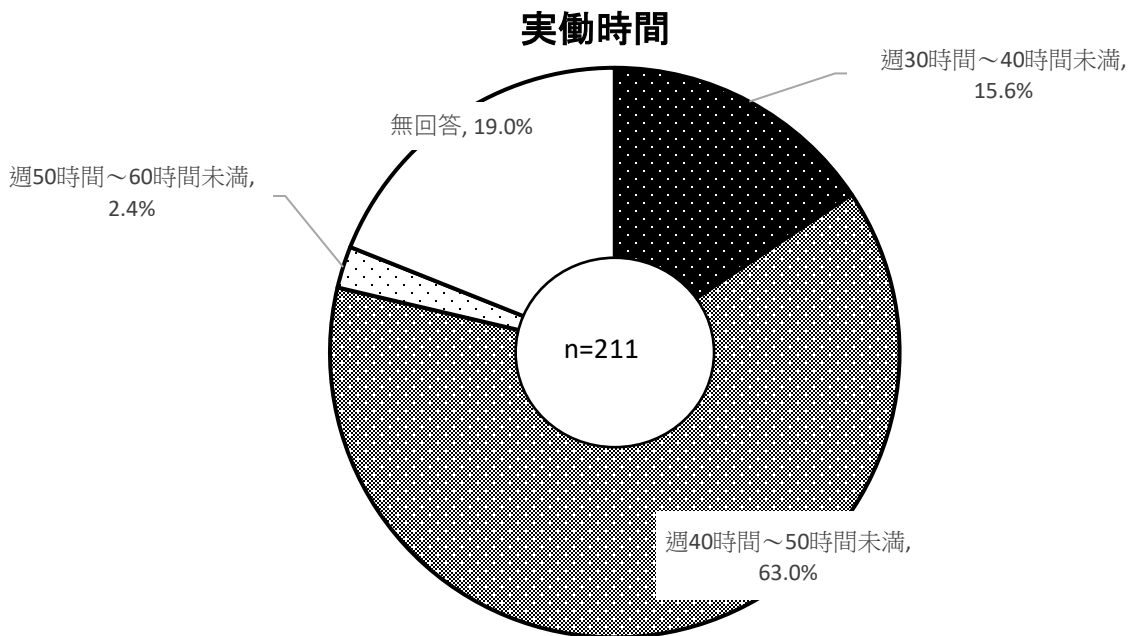


上段：実人員 下段：%	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	加配	合計
現状	261.6	420.2	378.0	271.3	269.4	228.6	340.7	2169.7
	12.1%	19.4%	17.4%	12.5%	12.4%	10.5%	15.7%	100.0%
理想	290.4	439.6	368.8	256.9	216.4	225.5	330.1	2127.7
	13.6%	20.7%	17.3%	12.1%	10.2%	10.6%	15.5%	100.0%
差 (現状-理想)	-28.8	-19.4	9.2	14.4	52.9	3.1	10.6	42.0



Q5 貴施設の正規職員(常勤)である保育士(主任を含む)についておうかがいします。
週あたりの平均的な(時間外労働を含む)実働時間は何時間ですか。

「週40時間～50時間未満」が63.0%と最も多い。

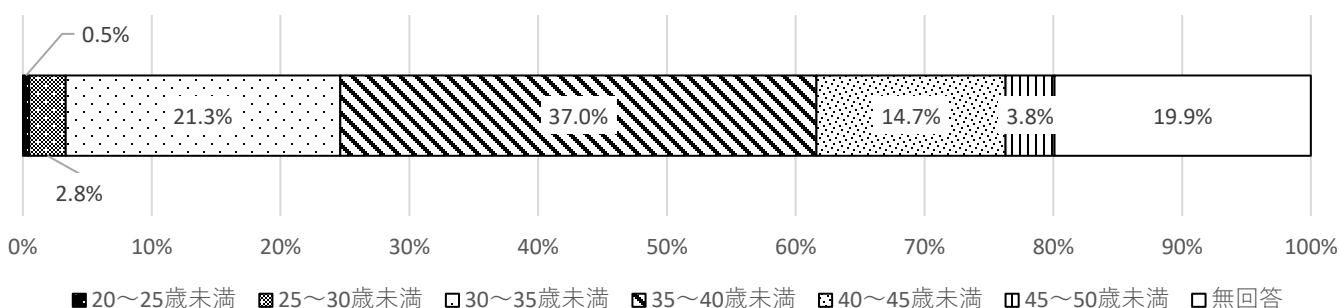


Q6 貴施設における正規職員(常勤)の待遇について、該当する数字をご記入ください。

平均年齢は「35～40歳未満」が37.0%で最も多く、次いで「30～35歳未満」(21.3%)となっている。
 平均勤続年数は「11年～13年未満」が25.1%で最も多く、次いで「15年以上」(19.0%)となっている。
 平均年収は「400～500万円未満」が40.8%で最も多く、次いで「300～400万円」(14.2%)となっている。
 初任給(月給)は「21万円～22万円未満」が23.7%で最も多く、次いで「17万円～18万円未満」(19.4%)となっている。

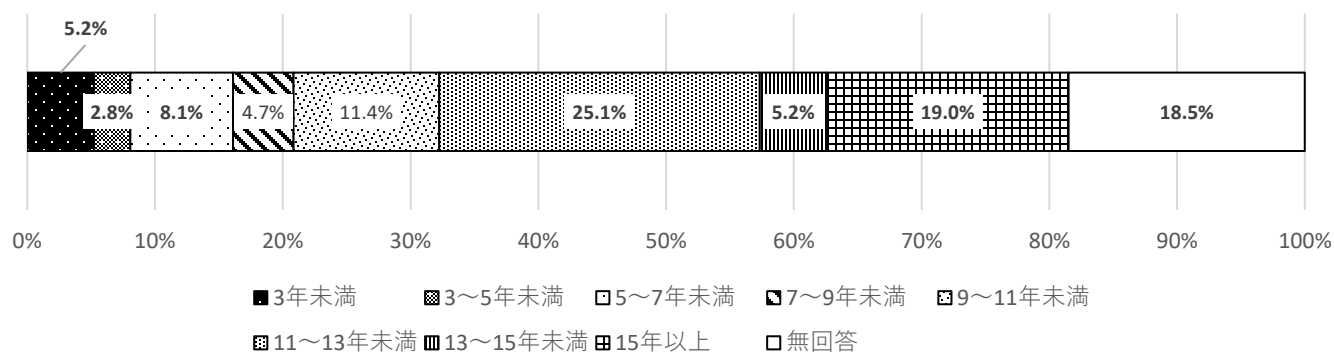
n=211

平均年齢



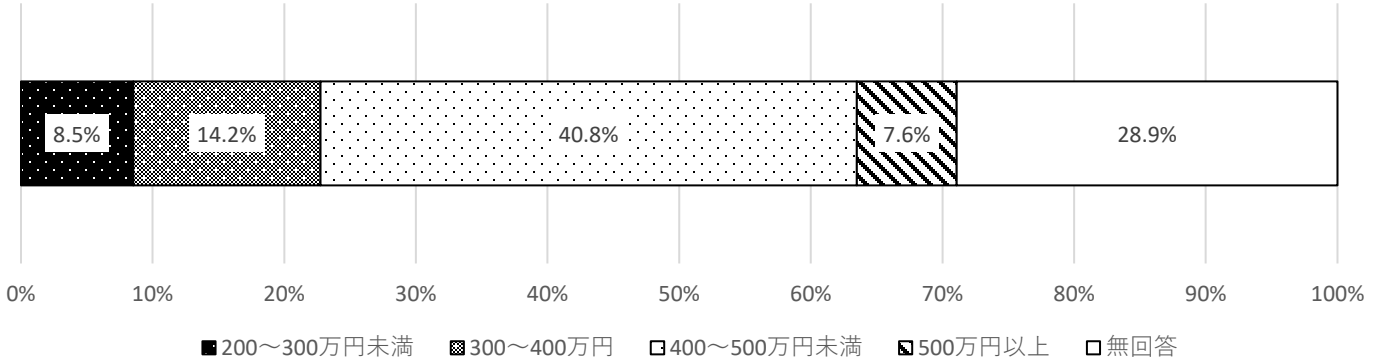
平均勤続年数

n=211



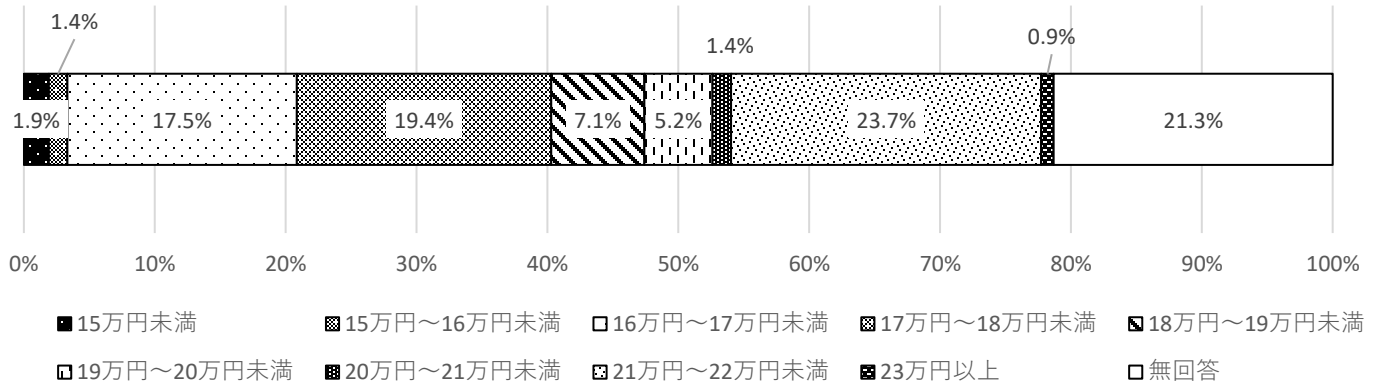
給与等支払額(年間)

n=211



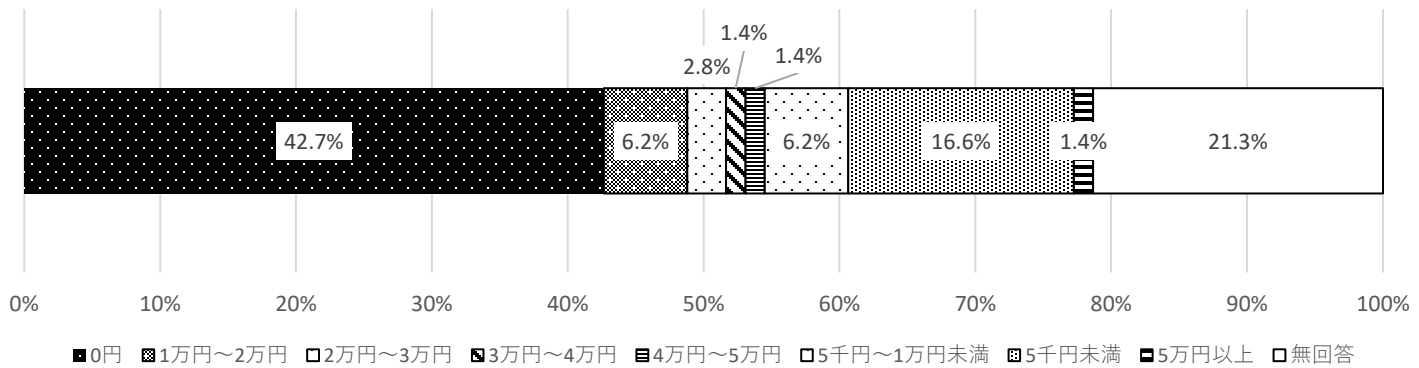
初任給(月給)

n=211



初任給(手当)

n=211

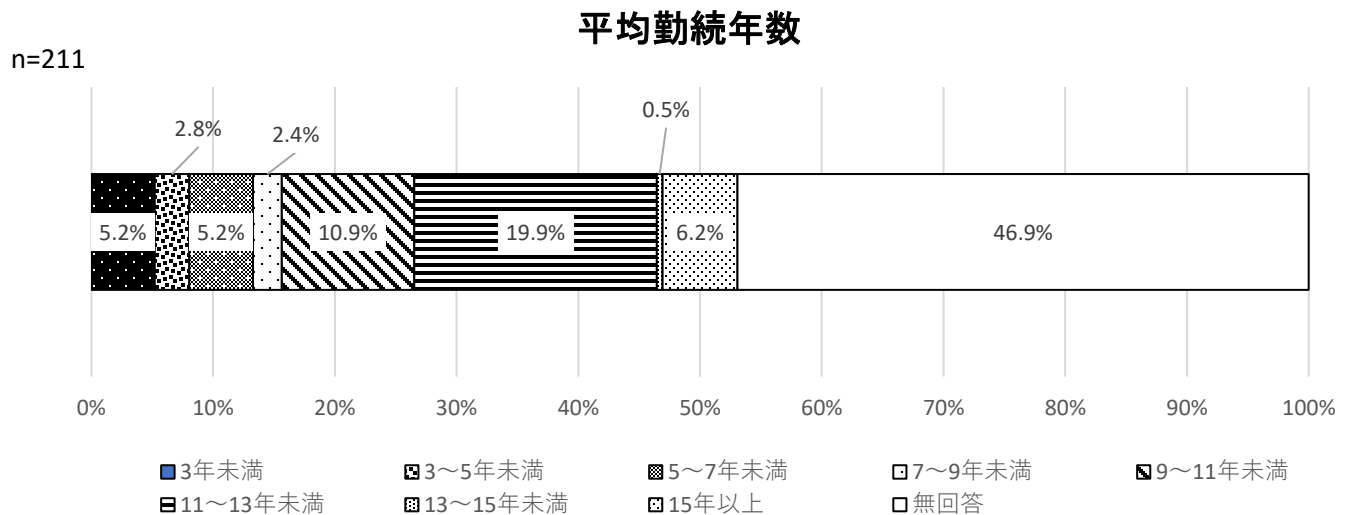
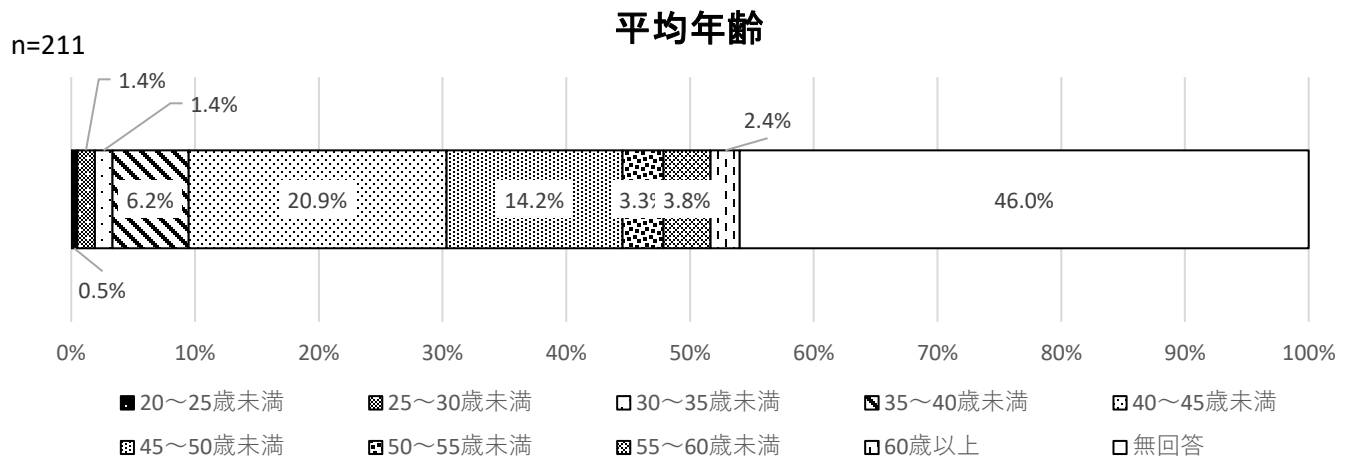
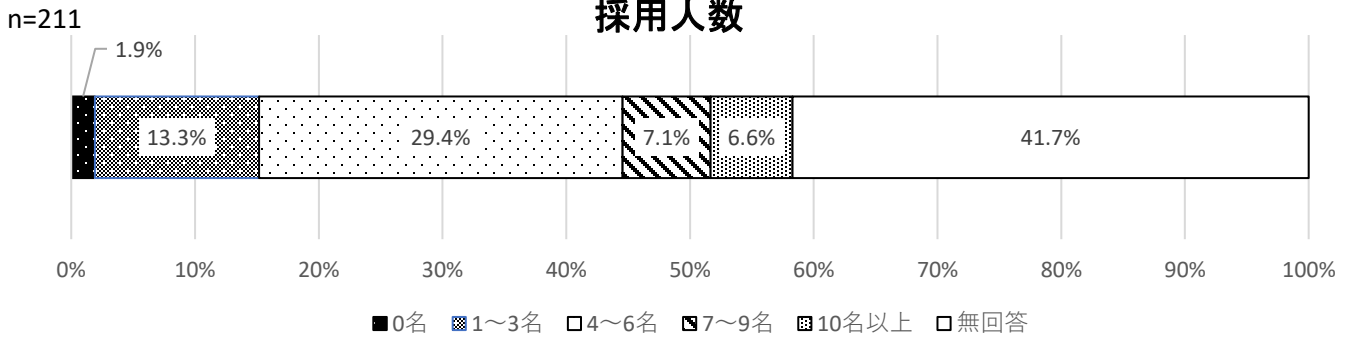


Q7-1 貴施設に勤める非正規職員のうち、保育士資格を持つ保育士について、雇用形態別に(1)雇用総人数、(2)平均年齢、(3)勤続年数、(4)給与等をお答えください。

Q7-2 貴施設において非正規職員として保育士資格を持つ保育士を採用する際の給与(月給、日給、時給)を教えてください。(前歴換算がない一般保育士を採用した場合の給与を記入願います)

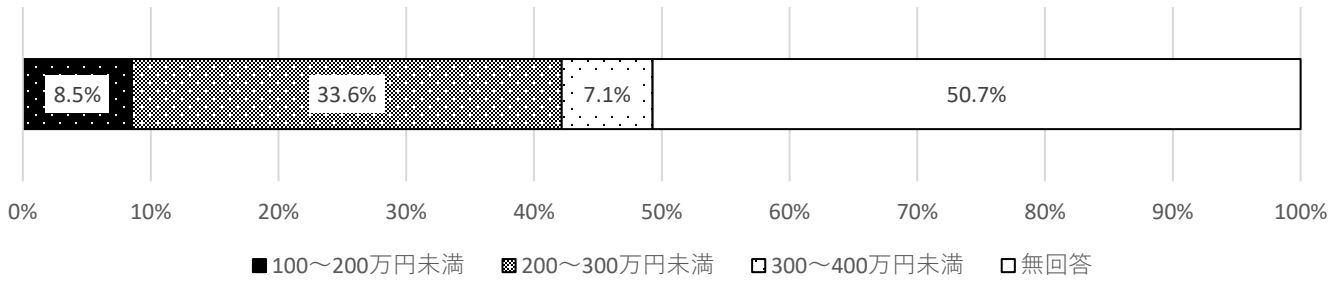
1 直接雇用(フルタイム)

フルタイムの採用人数は「4～6名」が29.4%で最も多い。平均年齢は「40～45歳未満」が20.9%で最も多い。平均勤続年数は「11～13年未満」が最も多い。平均給与は「200～300万円未満」が最も多い。



給与等支払額(年間)

n=211



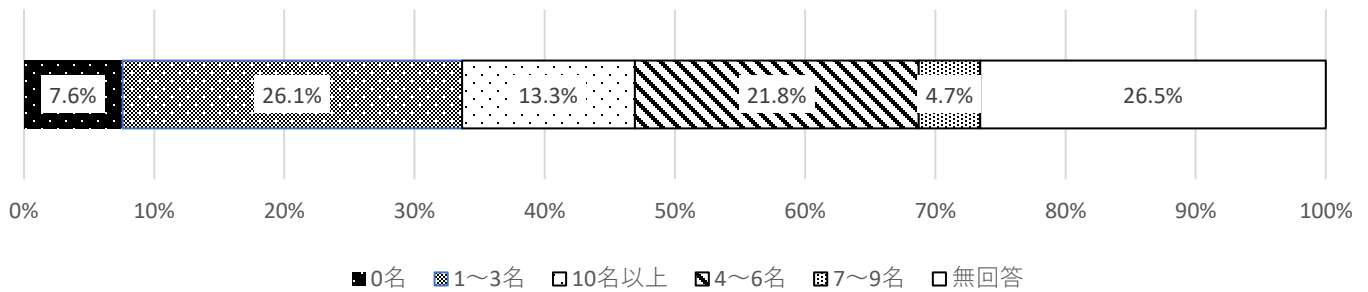
	月給制	日給月給制	日給制	時間給制
回答数	75	1	0	17
平均単価	177,905	160,000	-	1,059

2 直接雇用(パート)

パートの採用人数は「1~3名」が26.1%で最も多い。平均年齢は「45~50歳未満」が22.7%で最も多い。
平均勤続年数は「5~7年未満」が24.6%で最も多い。平均給与は「100~200万円未満」が34.6%で最も多い。

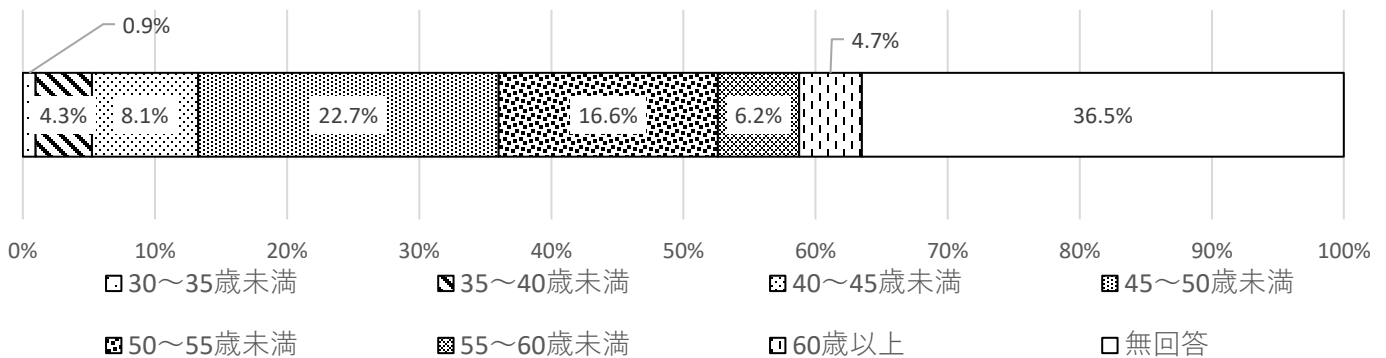
採用人数

n=211



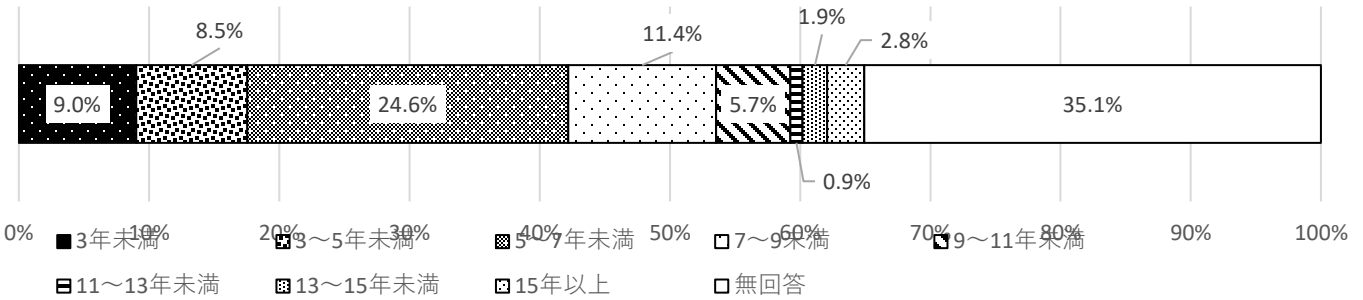
平均年齢

n=211



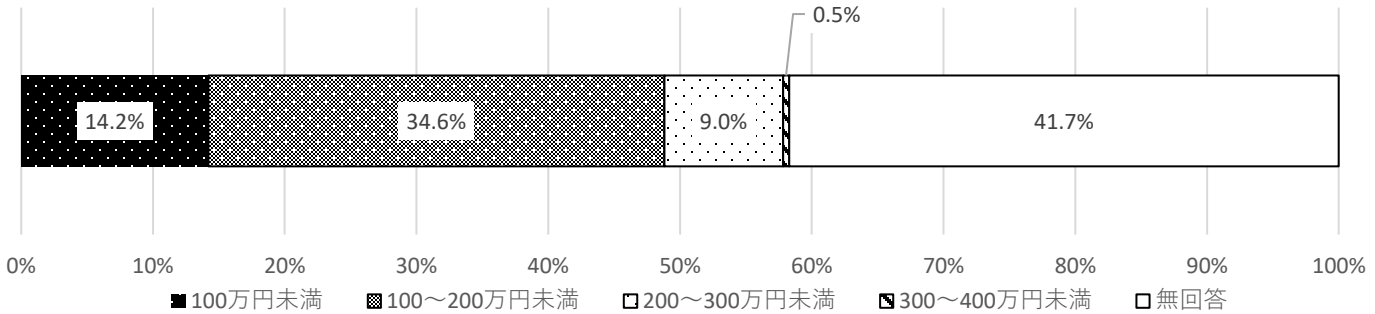
平均勤続年数

n=211



給与等支払額(年間)

n=211



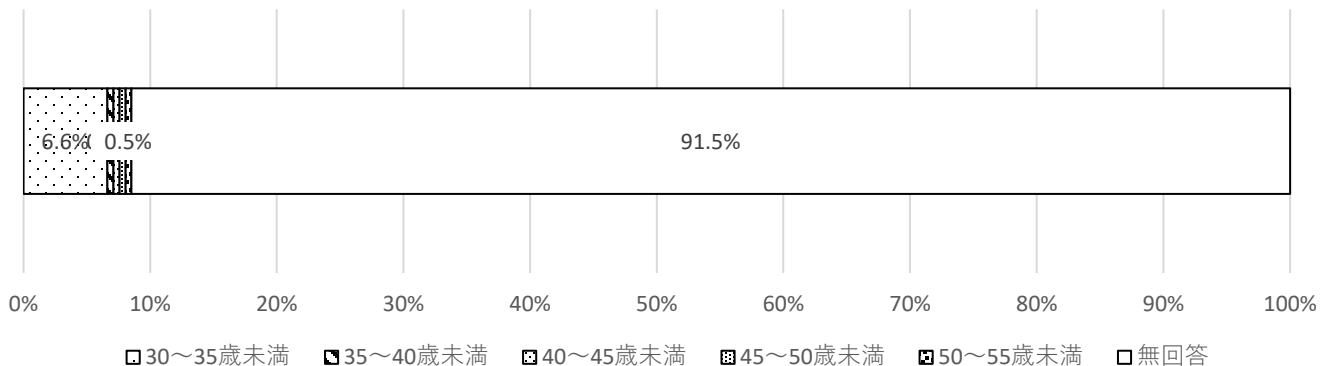
	月給制	日給月給制	日給制	時間給制
回答数	51	2	0	29
平均単価	136,870	110,000	-	1,095

3 派遣職員

平均年齢は「30～35歳未満」が最も多い。平均勤続年数は「3年未満」が最も多い。平均給与は「200～300万円未満」が最も多い。

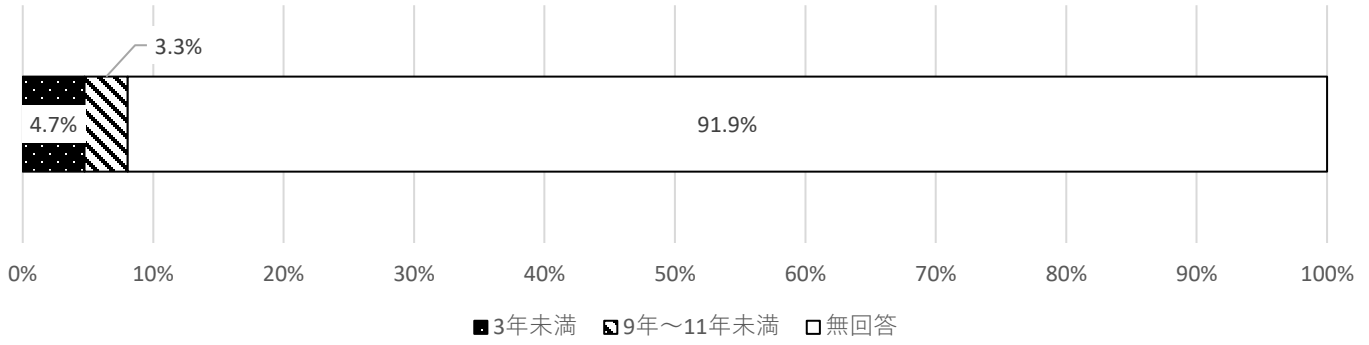
平均年齢

n=211



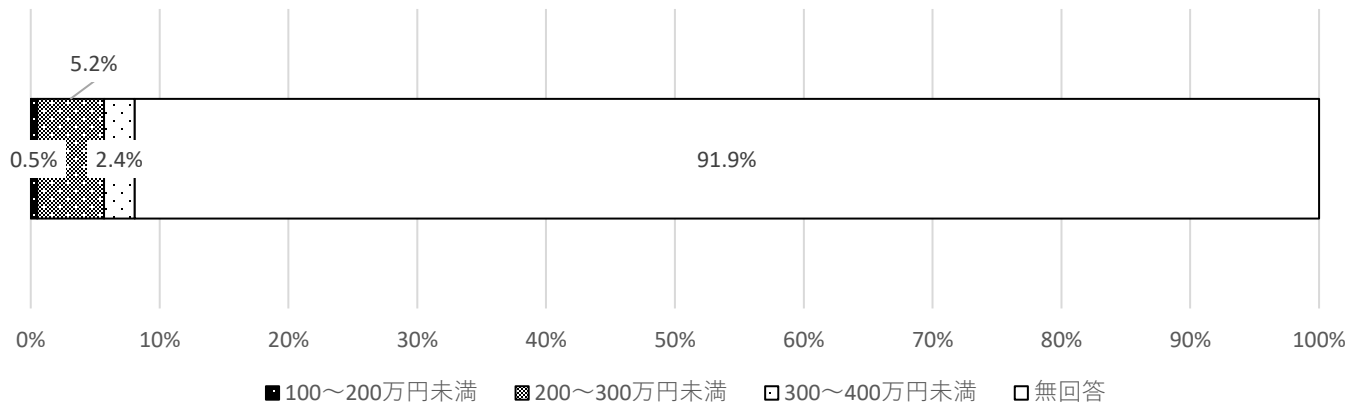
平均勤続年数

n=211



給与等支払額(年間)

n=211



	月給制	日給月給制	日給制	時間給制
回答数	5	-	-	4
平均単価	280,000	-	-	1,437

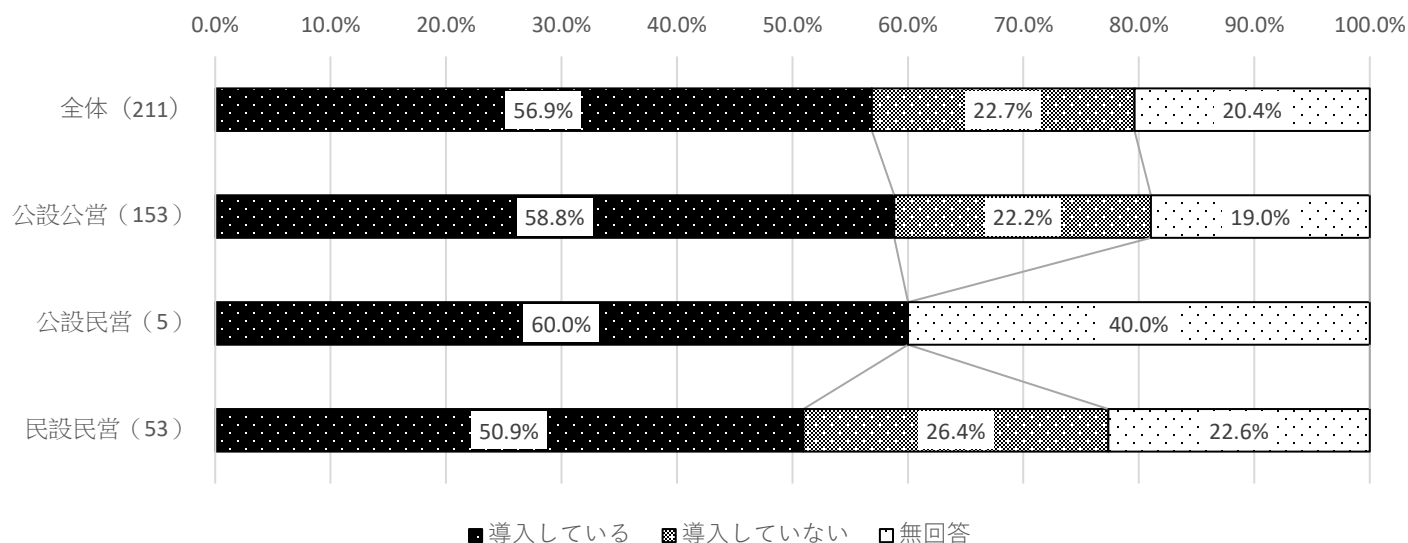
(4)ICTの導入について

Q8 貴施設において保育ICTシステムを導入していますか。

Q8-1 Q8において「導入している」と回答した方にお伺いします。
貴施設において導入している保育ICTシステムの名称をご記入ください

「導入している」が56.9%となっている。
施設の種別別でもどの種類でも過半数が導入している。
導入しているシステムは「コドモン」が59.2%で最も多い。

システムの導入状況(種別別)



導入しているシステムの名称

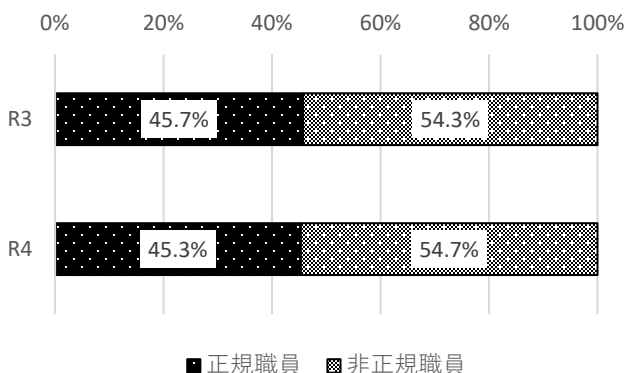
名称	回答数	割合(%)
コドモン	71	59.2
キッズビュー	16	13.3
はいチーズ!システム	6	5.0
ルクミー	5	4.2
C4THhome&school	3	2.5
すぐ〜る	2	1.7
コミュなび	1	0.8
タッチビュー、キッズビュー	1	0.8
CHAPPY	1	0.8
チャイルド	1	0.8
CCSシステム	1	0.8
登降園管理システム	1	0.8
チャイルドケアシステム	1	0.8
無回答/その他	10	8.3

(5) 保育士数について

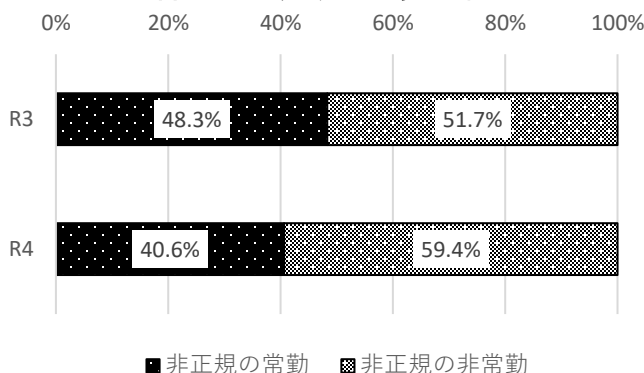
Q9 貴施設の、過去2年間(R3、R4年度)の4月1日時点での保育士の人数をご記入ください。

保育士数はR3、R4ともに「非正規職員」が「正規職員」を上回っている。
 非正規職員はR3、R4ともに「非常勤職員」が「常勤職員」を上回っている。
 公設公営はR3、R4ともに「非正規職員」が「正規職員」を上回っていて、「民設民営」は「正規職員」が「非正規職員」を上回っている。

保育士数



保育士数(非正規内訳)



上段：実人員 下段：%		正規職員	非正規職員	計
R3		1,085	1,288	2,372
		45.7%	54.3%	100.0%
R4		1,085	1,310	2,395
		45.3%	54.7%	100.0%

上段：実人員 下段：%		非正規の常勤	非正規の非常勤	計
R3		586	626	1,211
		48.3%	51.7%	100.0%
R4		580	849	1,429
		40.6%	59.4%	100.0%

上段：実人員 下段：%		正規職員	非正規職員	計
R3	公設公営	773	1,064	1,836
		42.1%	57.9%	100.0%
	公設民営	9	21	30
		30.0%	70.0%	100.0%
	民設民営	303	203	506
		59.9%	40.1%	100.0%
R4	公設公営	756	1,083	1,839
		41.1%	58.9%	100.0%
	公設民営	8	24	32
		25.0%	75.0%	100.0%
	民設民営	321	213	534
		60.1%	39.9%	100.0%

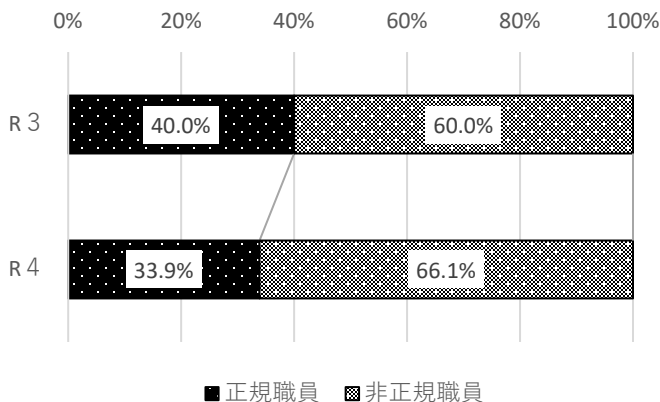
上段：実人員 下段：%		非正規の常勤	非正規の非常勤	計
R3	公設公営	492	483	975
		50.5%	49.5%	100.0%
	公設民営	5	16	21
		23.8%	76.2%	100.0%
	民設民営	88	127	215
		40.9%	59.1%	100.0%
R4	公設公営	486	700	1,186
		41.0%	59.0%	100.0%
	公設民営	4	20	24
		16.7%	83.3%	100.0%
	民設民営	90	129	219
		41.1%	58.9%	100.0%

Q10 貴施設で、過去2年間(R3、R4年度)に自己都合で退職した保育士(定年退職除く)がいますか。いる場合、その人数をご記入ください。

Q11 Q10の退職者(定年退職除く)について、勤務年数別の実人数を記入してください。

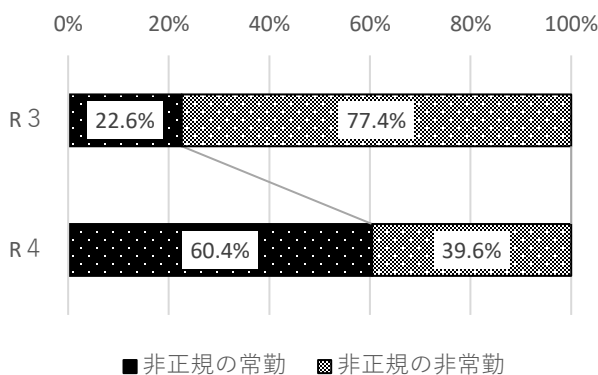
自己都合退職者はR3、R4ともに非正規職員の方が多い。
勤務年数はR3は「1年以上3年未満」、R4は1年未満が最も多い。

退職者



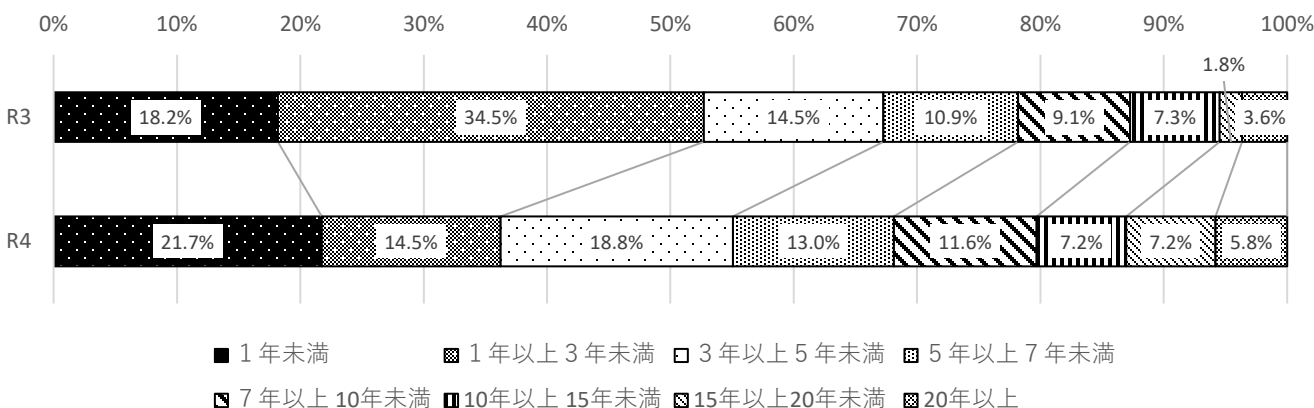
上段：実人員 下段：%	正規職員	非正規職員	計
R3	30	45	75
	40.0%	60.0%	100.0%
R4	39	76	115
	33.9%	66.1%	100.0%

退職者(非正規内訳)



上段：実人員 下段：%	非正規の常勤	非正規の非常勤	計
R3	7	24	31
	22.6%	77.4%	100.0%
R4	29	19	48
	60.4%	39.6%	100.0%

勤務年数



上段：実人員 下段：%	1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上7年未満	7年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上	計
R3	10	19	8	6	5	4	1	2	55
	18.2%	34.5%	14.5%	10.9%	9.1%	7.3%	1.8%	3.6%	100.0%
R4	15	10	13	9	8	5	5	4	69
	21.7%	14.5%	18.8%	13.0%	11.6%	7.2%	7.2%	5.8%	100.0%

(6) 施設での取り組み

Q12 貴施設で、ア 現在、保育士の職場定着のために取り組んでいることは何ですか。また、イ 今後、保育士の職場定着のために取り組みたいと思うことは何ですか。⑳その他の場合は()内に具体的内容をご記入ください。
(それぞれ〇はいくつでも)

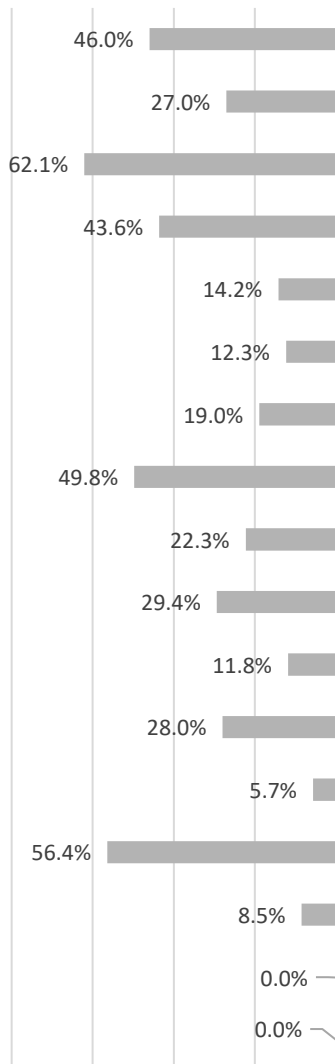
現在取り組んでいることは「休暇を取得しやすい環境の整備」が62.1%で最も多く、次いで「職場のなごやかな雰囲気づくり」(56.4%)となっている。

今後取り組みたいことは「給与水準の引き上げ」が36.0%で最も多く、次いで「作成書類の軽減、事務作業の効率化」(33.6%)となっている。

現在取り組んでいること

n=211

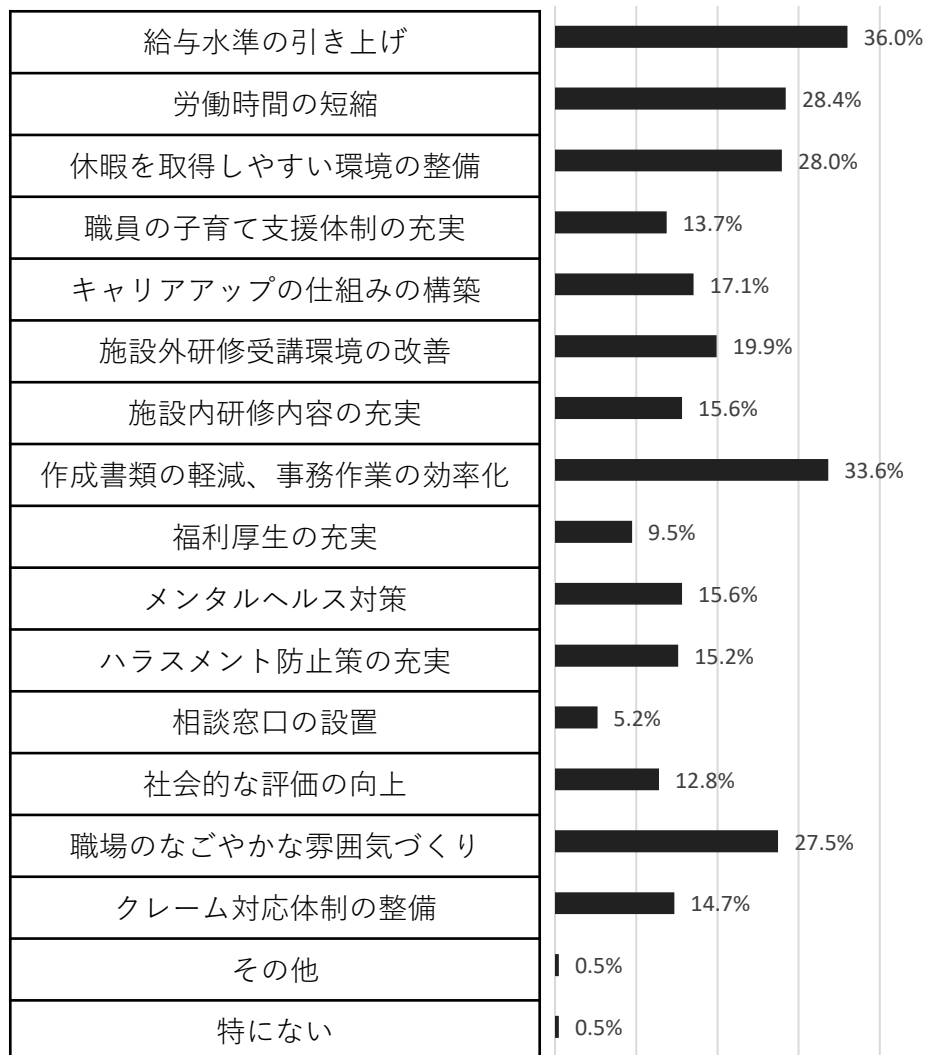
80.0% 60.0% 40.0% 20.0% 0.0%



今後取り組みたいこと

n=211

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0%



今後、取り組みたいこと
その他の回答

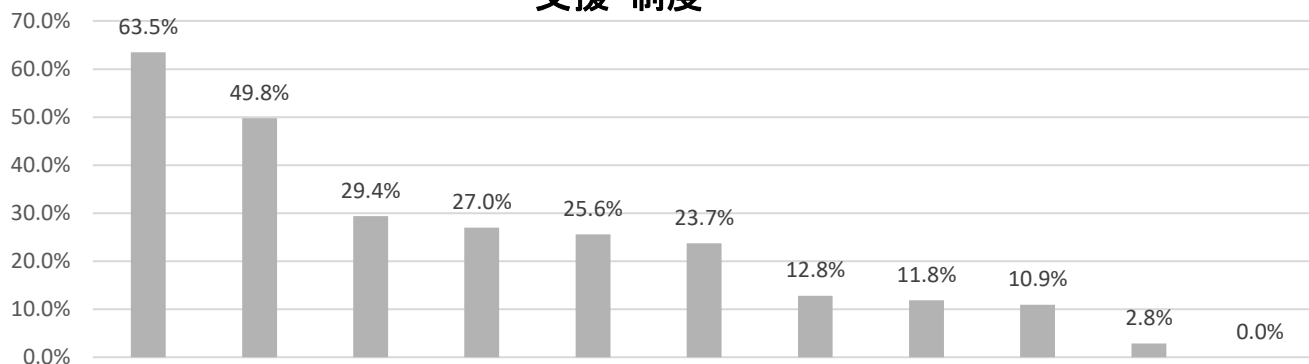
教育・人事評価

(7) 支援・制度について

Q13 貴施設において、保育士を安定的に雇用していくために望む支援・制度見直しは何ですか。

保育士確保のために望む支援は、「職員の給与改善に関する公的支援の充実」が63.5%で最も多く、次いで「保育士の社会的評価を高める取り組み」(49.8%)となっている。

支援・制度



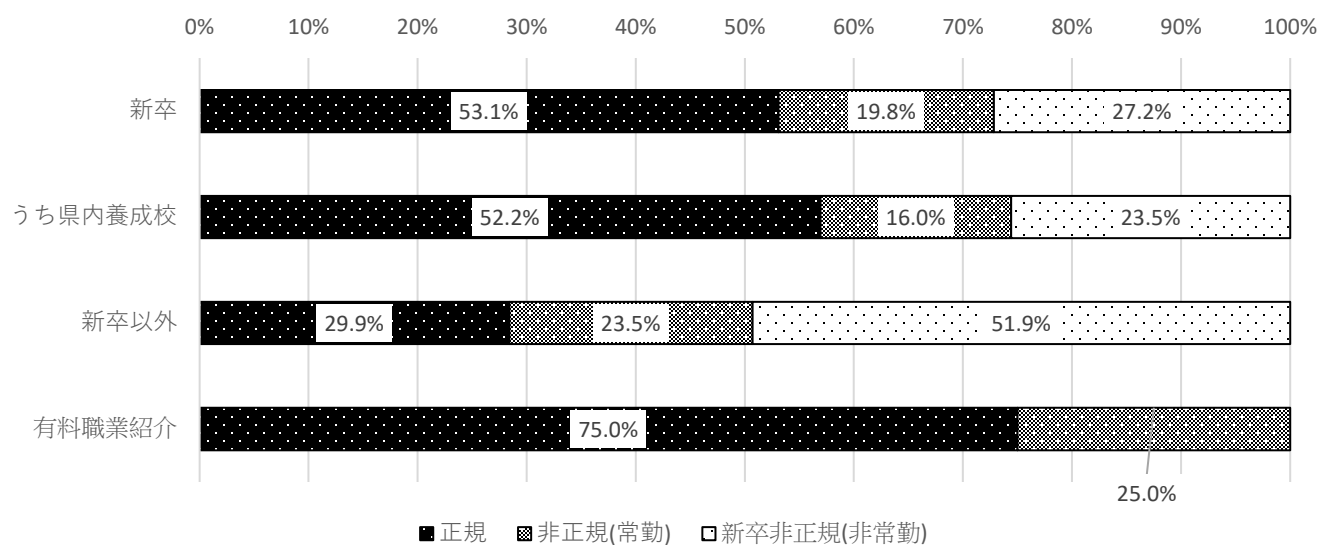
	n	職員の給与改善に関する公的支援の充実	保育士の社会的評価を高める取り組み	加配職員雇用のための支援の充実	現任保育士への教育・研修制度の充実	正規と非正規の均衡・均等待遇の促進	保育士・保育所支援センター(旧保育士人材バンク)の充実	助成金や法令等のPR・解説の充実	保育の技術・技能評価制度の整備	保育所相談支援体制の充実	その他	教育訓練等・保育士資格取得に関する助成金制度の充実
全体	211	63.5%	49.8%	29.4%	27.0%	25.6%	23.7%	12.8%	11.8%	10.9%	2.8%	0.0%

(8) 保育士の採用について

Q14 昨年度(令和4年度)の「(1)新卒」及び「(2)新卒以外」の採用状況それぞれについて、該当する欄に数字をご記入ください。

新卒は「正規」が53.1%と最も多く、新卒以外は「非正規(非常勤)」が51.9%と最も多い。

採用状況

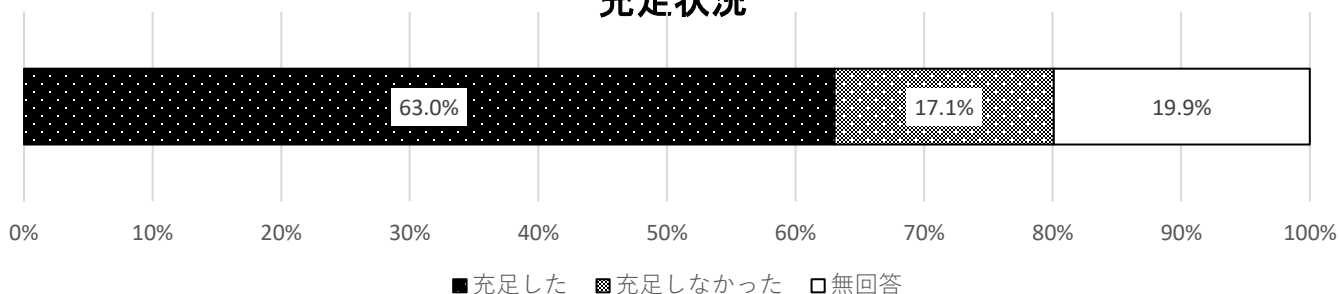


上段：実人員 下段：%	正規	非正規(常勤)	非正規(非常勤)	計
新卒	43	16	22	81
	53.1%	19.8%	27.2%	100.0%
うち県内養成校	35	13	19	67
	52.2%	16.0%	23.5%	100.0%
新卒以外	26	19	42	87
	29.9%	23.5%	51.9%	100.0%
新卒・新卒以外計	69	35	64	168
うち有料職業紹介	3	1	0	4
	75.0%	25.0%	0.0%	100.0%

Q15 令和4年度の採用において、募集人員は充足しましたか。しなかった場合は、その雇用形態について選択肢より
 選び記入してください。(〇はいくつでも)

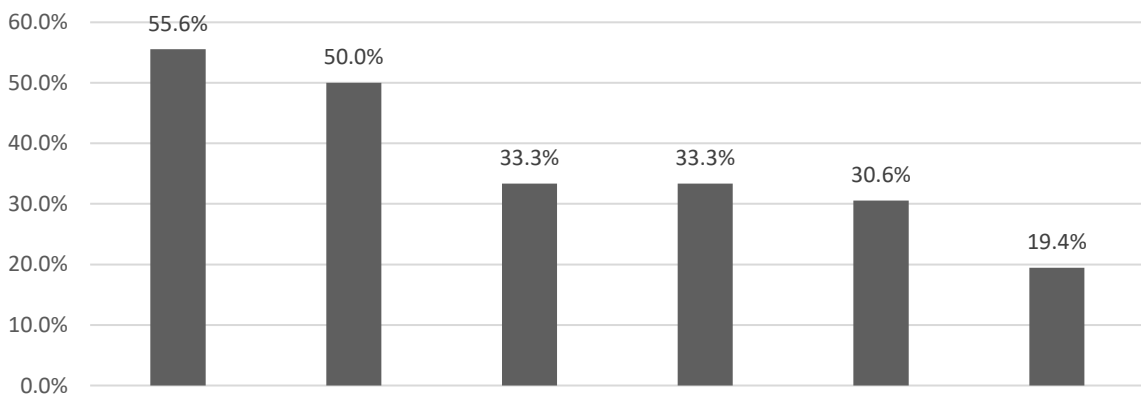
「充足した」が63.0%で「充足しなかった」を上回っている。
 充足しなかった雇用形態としては「新卒以外の非正規（非常勤）」が55.6%で最も多い。

充足状況



	n	充足した	充足しなかった	無回答
全体	211	63.0%	17.1%	19.9%
公設公営	153	60.1%	21.6%	18.3%
公設民営	5	60.0%	0.0%	40.0%
民設民営	53	71.7%	5.7%	22.6%

充足しなかった雇用形態

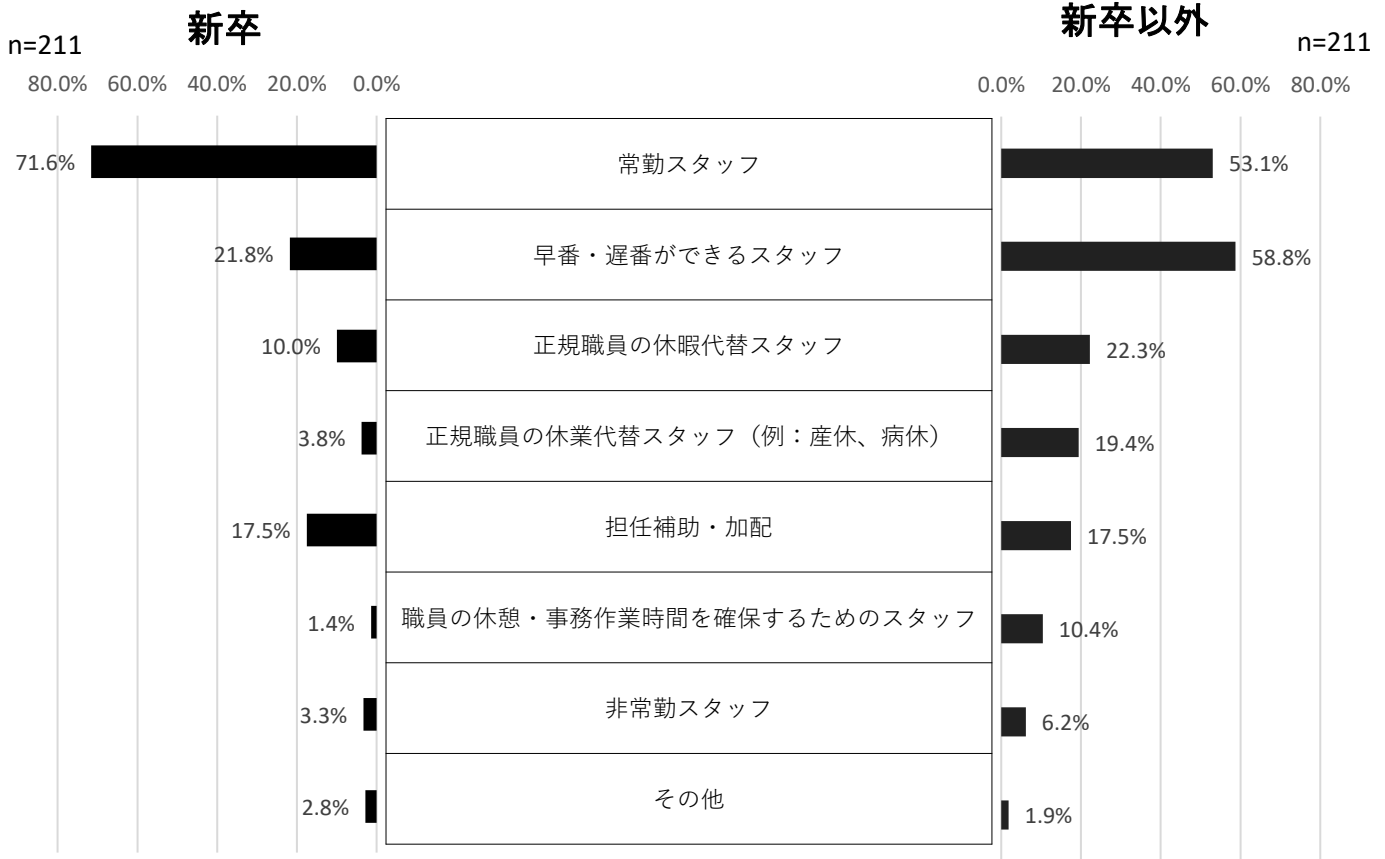


	n	新卒以外の非正規（非常勤）	新卒の正規	新卒の非正規（常勤）	新卒以外の正規	新卒以外の非正規（常勤）	新卒の非正規（非常勤）
全体	36	55.6%	50.0%	33.3%	33.3%	30.6%	19.4%
公設公営	33	57.6%	48.5%	36.4%	33.3%	33.3%	21.2%
公設民営	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
民設民営	3	33.3%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%

Q16 現時点で、どのようなスタッフを求めているか、(1)と(2)それぞれの場合について、選択肢より3つまで選び、番号に○を記入してください。

新卒では「常勤スタッフ」が71.6%で最も多く、次いで「早番・遅番ができるスタッフ」(21.8%)となっている。

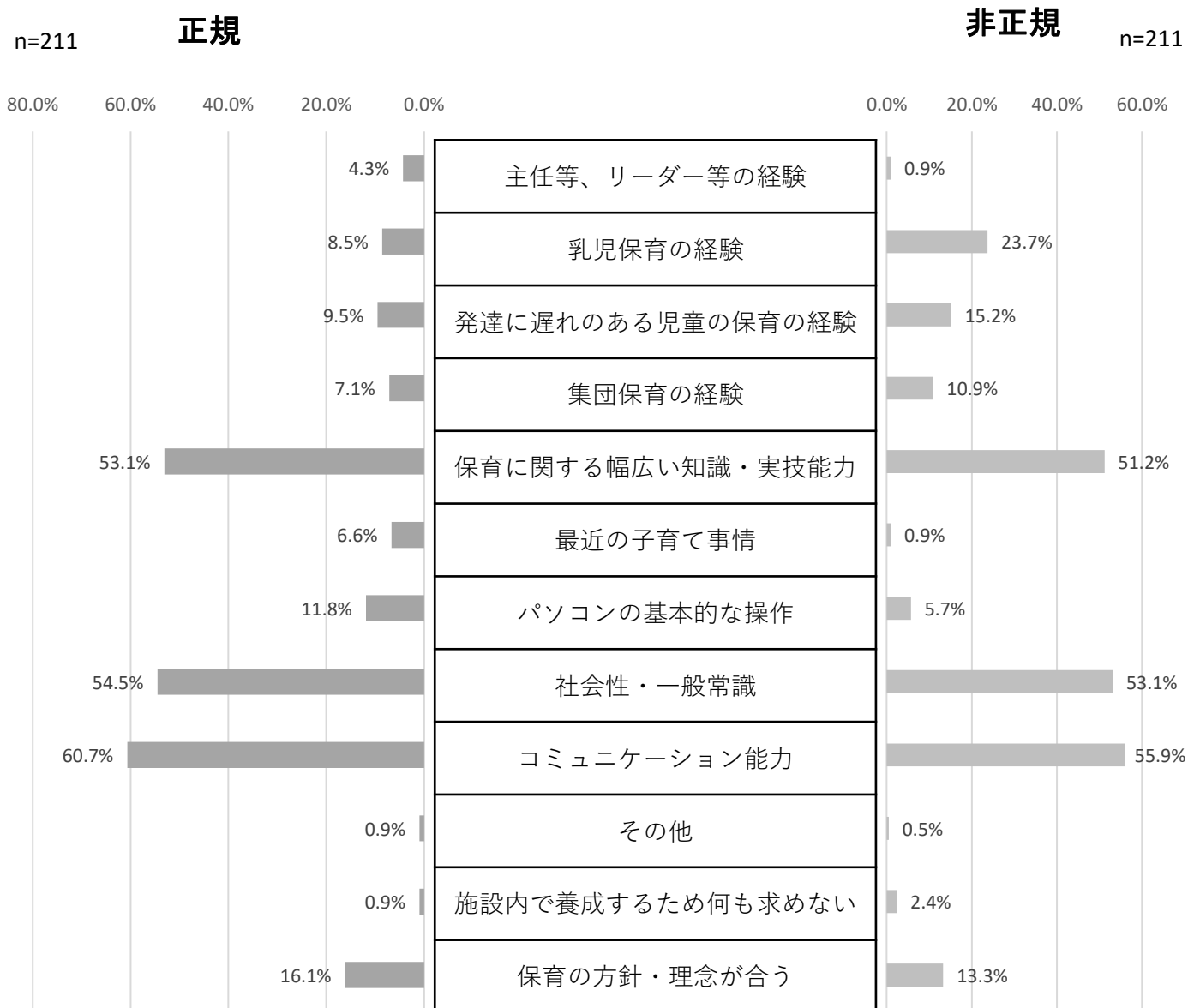
新卒以外では「早番・遅番ができるスタッフ」が58.8%で最も多く、次いで「常勤スタッフ」(53.1%)となっている。



その他の内容(新卒)	その他の内容(新卒以外)
<ul style="list-style-type: none"> 採用は考えていない 充足しているため必要ない 現在は充足している 	<ul style="list-style-type: none"> 充足しているため必要ない 代替保育士 現在は充足している

Q17 採用する保育士に求める技術・知識等についておうかがいします。(正規、非正規ごとに回答願います)(〇は3つまで)

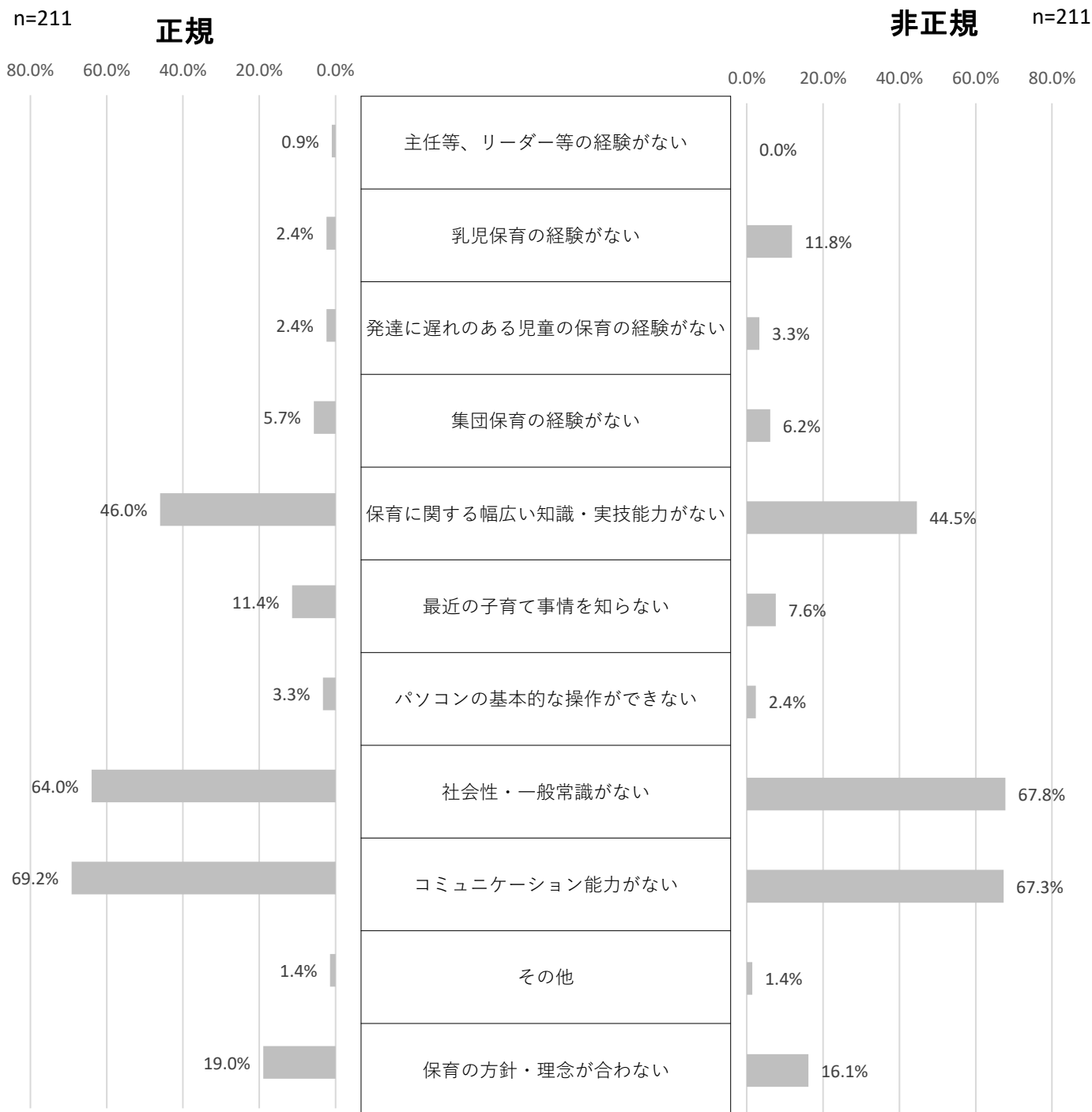
正規、非正規ともにでは「コミュニケーション能力」が最も多く、次いで、「社会性・一般常識」となっている。



その他の内容(正規)	その他の内容(非正規)
<ul style="list-style-type: none"> ・人間性 ・ピアノが弾ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間性 ・子育て経験

Q18 新卒以外保育士採用において至らない方、あるいは採用するには心配な方はどんな方ですか。(正規、非正規ごとに回答願います)(〇は3つまで)

正規・非正規ともに「コミュニケーション能力がない」が最も多く、次いで、「社会性・一般常識がない」となっている。

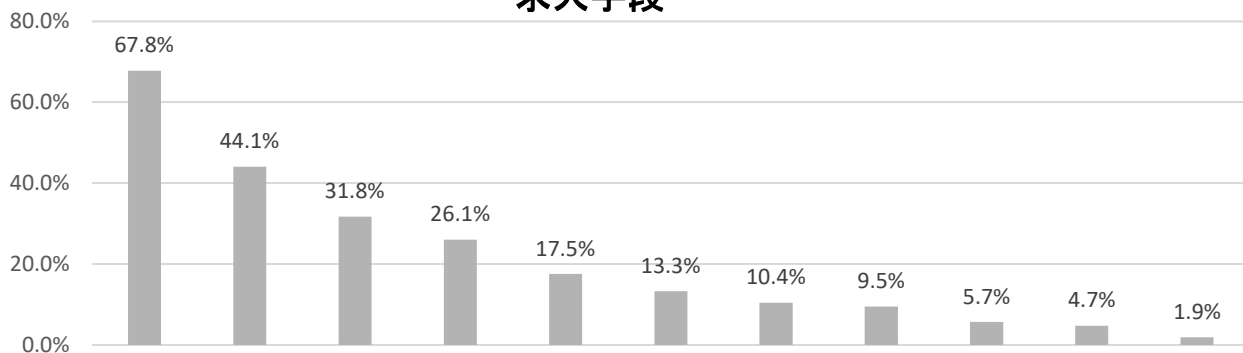


Q19 実施している求人手段をお答えください。(〇はいくつでも)

求人手段は「ハローワーク」(67.8%)が最も多く、次いで「県内の保育養成施設への求人」(44.1%)となっている。

施設の種別にも「ハローワーク」が最も多い。

求人手段



	n	ハローワーク	県内の保育士養成施設への求人	友人・知人の紹介	就職説明会	自施設・自社の掲示板またはHP	紹介 保育士人材バンクなどの無料職業	退職した職員への情報提供	その他	有料人材派遣・紹介会社に依頼	県外の保育士養成施設への求人	求人広告
全体	211	67.8%	44.1%	31.8%	26.1%	17.5%	13.3%	10.4%	9.5%	5.7%	4.7%	1.9%

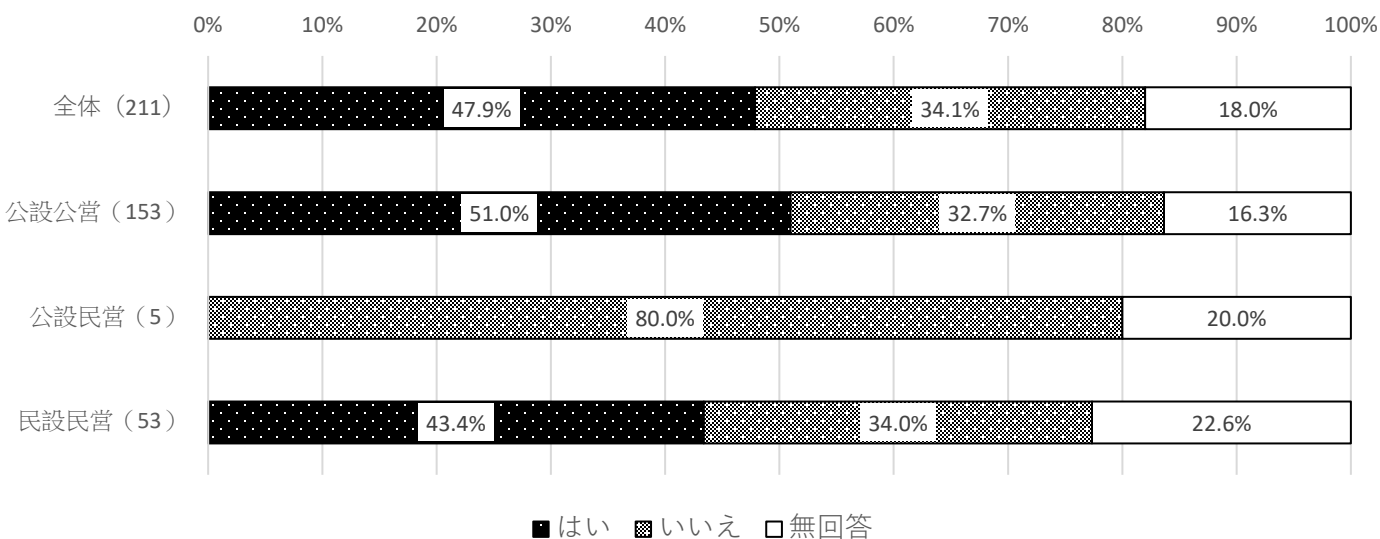
公設公営	153	67.3%	43.8%	25.5%	25.5%	15.0%	11.8%	10.5%	9.8%	3.3%	3.3%	0.7%
公設民営	5	80.0%	0.0%	20.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%
民設民営	53	67.9%	49.1%	28.3%	45.3%	24.5%	3.8%	22.6%	13.2%	9.4%	11.3%	5.7%

求人媒体 (自由記述)	その他回答の内容 (自由記述)
<ul style="list-style-type: none"> ・ココどう、リクマッチ、ファインプロダクト、カモンワーク ・地元新聞 ・ホームページ 	<ul style="list-style-type: none"> ・公立なので上司に任せたり、知り合いに声がけをしたりしています。 ・市で行っている ・facebook ・町担当が行っている ・正規職員は市の採用試験 ・市の方で採用している ・役場で募集してくれています ・現役保育士から潜在保育士への声掛け

Q20 現在、保育士の採用に困難を感じていますか。(○は1つ)またその理由はどんなことですか。

全体では「はい（困難を感じている）」が47.9%、「いいえ（困難を感じていない）」が34.1%となっている。

採用の困難さ



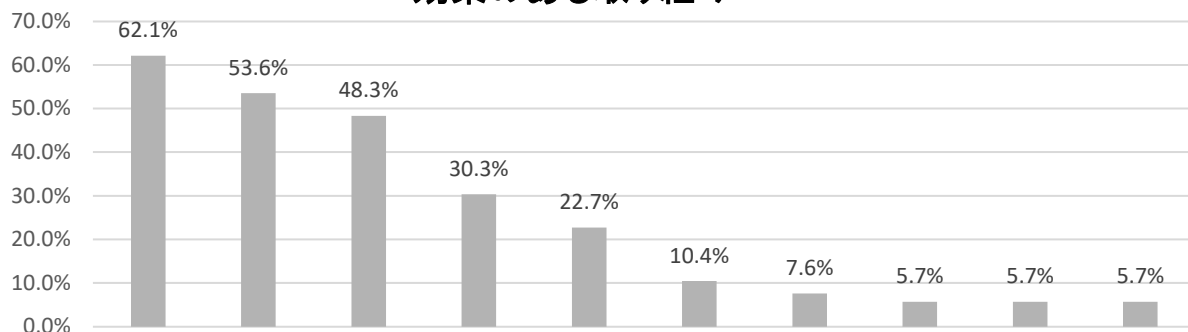
「はい（困難を感じている）」の理由

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・募集しても人が集まらない ・私立民間施設への保育士流出 ・私立 民間への保育士流出 ・他町村と試験日時が被ってしまう ・朝夕の保育士が不足 ・他の職業についている、子育て中 ・パート職員への応募が少ない ・保育士不足 ・市町村管轄なので、採用に関しては一任のため ・苦勞の割に見入りの少ない職業なので継続する人が少ない ・パート遅番希望者がいない ・非常勤の代替保育士の確保 ・地域事情 ・延長保育士の確保が難しい | <ul style="list-style-type: none"> ・欠員がある ・質の低下 ・探してもなかなかみつからない。 ・放課後デイサービス等、他の職種との人材のとりあい ・労働時間などの条件が合わない ・求人と合う人材が見つからない ・希望に叶う人材を見つけることが難しい ・1日働く人材の確保が困難 ・園児数変動するため ・保育所開所の11時間を埋めるための人員確保が難しい ・配置基準の見直し等により |
|---|---|

Q21 今後、潜在保育士を雇用するにあたって、効果があると思われる取組についてお答えください。

「勤務時間の対応（短時間勤務、残業時間の短縮、隔日勤務等）」が62.1%と最も多く、次いで「給与の引き上げ」（53.6%）となっている。

効果のある取組み



	n	勤務時間の対応（短時間勤務、残業時間の短縮、隔日勤務等）	給与の引き上げ	雇用形態の対応（パート・アルバイト等希望の雇用形態での採用等）	キャリアアップの仕組み	就業のための実務研修制度（施設独自で行う潜在保育士復帰プログラムなど）	再雇用制度（退職者が一定の条件を満たせば復職を認める制度）の整備	相談窓口（担当者）の設置	その他	人間関係（例：潜在保育士への積極的サポート）	事務作業の効率化
全体	211	62.1%	53.6%	48.3%	30.3%	22.7%	10.4%	7.6%	5.7%	5.7%	5.7%

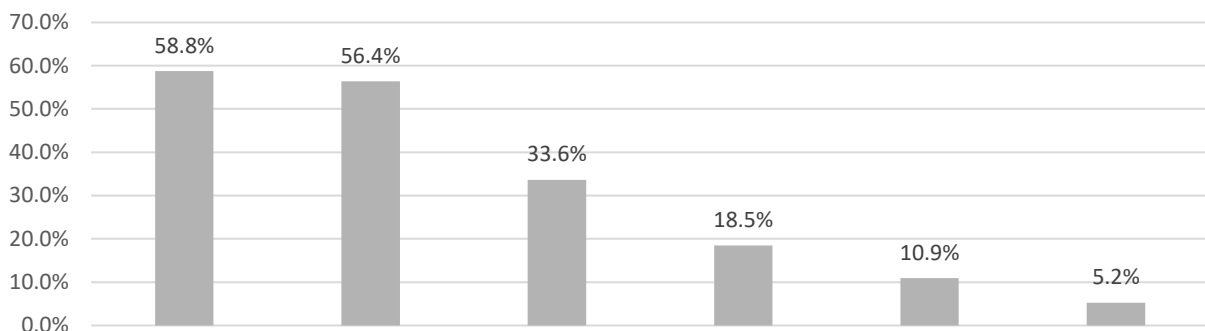
その他の内容

- ・ 就業のための研修
- ・ 人事評価
- ・ 保育士体験で園の雰囲気を感じる
- ・ 給与の引き上げ
- ・ 働きたい人に合わせた柔軟な対応
- ・ 保育資格の必要性

Q22 今後、潜在保育士の雇用に関して、県に求める取組・支援(現在実施しているものも含む)でどのようなものを求めますか。(複数回答可)

「潜在保育士の再就職に向けた研修の実施」が58.8%と最も多く、次いで、「再就職意向のある方を対象にした就職相談会の実施」(56.4%)となっている。

効果のある取り組み



	n	潜在保育士の再就職に向けた研修の実施	再就職意向のある方を対象にした就職相談会の実施	保育士・保育所支援センター(旧保育士人材バンク)での無料職業紹介	県外からの保育士確保支援	雇用管理改善のための管理者向け研修	その他
全体	211	58.8%	56.4%	33.6%	18.5%	10.9%	5.2%

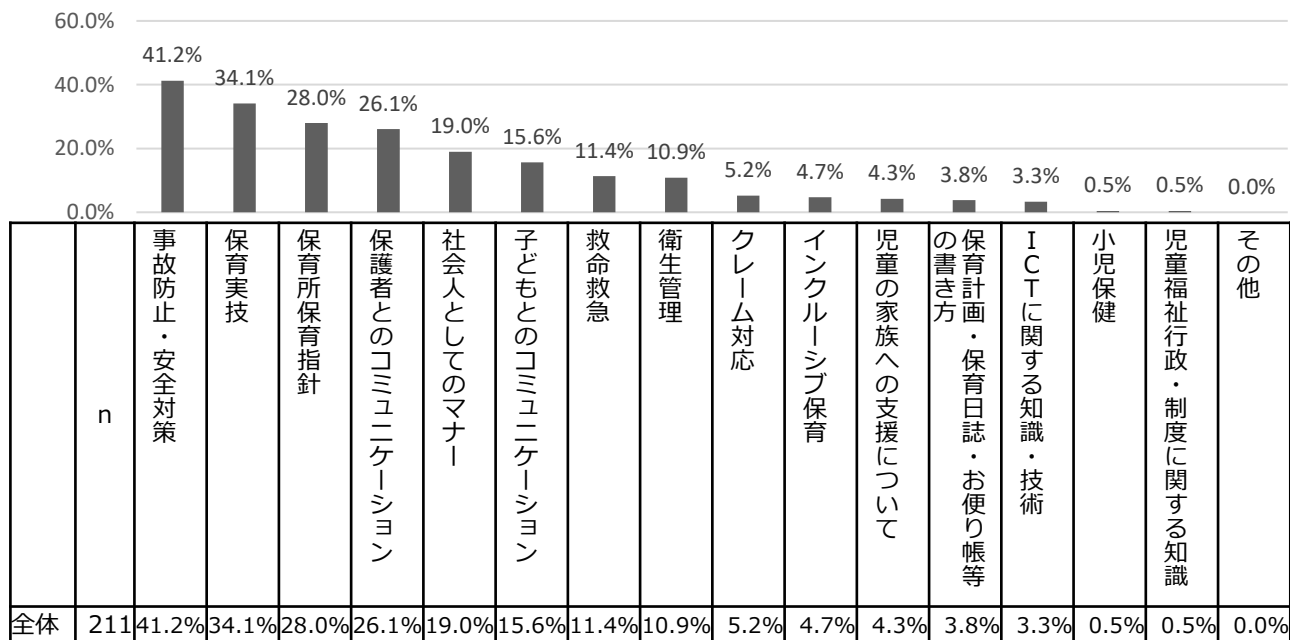
その他の内容

- ・ 正規職員は年齢制限の幅を広げる
- ・ 処遇改善、負担軽減策
- ・ 保育業務の改善
- ・ 県独自で保育士配置基準の見直し、それに関わる人件費等の補助金の拡充
- ・ 国の保育士配置基準が厳しすぎる
- ・ 保育士という仕事が魅力的であることをアピールしてほしい。報道では保育園へ対して厳しい評価やマイナスの評価しか報道されないため。

Q23 潜在保育士を現場に受け入れる際に、受けさせたい研修をお選びください。(3つまで)

潜在保育士に受けさせたい研修は「事故防止・安全対策」が41.2%で最も多く、次いで「保育実技」(34.1%)となっている。

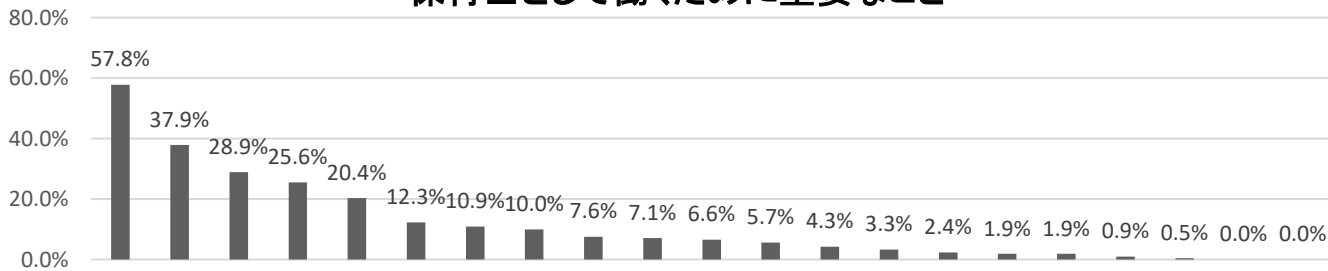
潜在保育士に受けさせたい研修



Q24 保育士として働くためには、何が重要だと思いますか。下記の選択肢の中から特に重要だと思うことを3つお選びください。

保育士として働くために重要な事項は「子どもへの愛情」が57.8%で最も多く、次いで「職場の人間関係」(37.9%)となっている。

保育士として働くために重要なこと

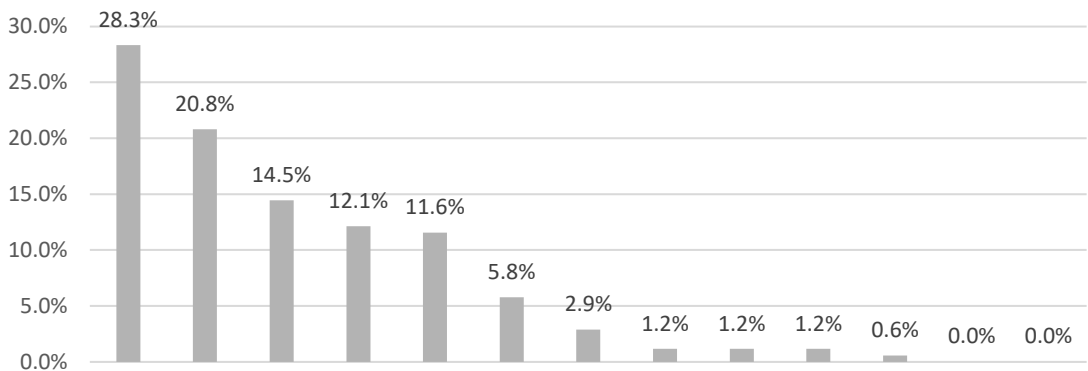


重要なこと	n	割合
子どもへの愛情	211	57.8%
職場の人間関係		37.9%
健康・体力		28.9%
保育に関する知識		25.6%
余裕のある人員		20.4%
仕事に対するやりがい		12.3%
仕事量の軽減		10.9%
保護者との人間関係		10.0%
家族の協力		7.6%
生計の見通しが立つ賃金		7.1%
業務の効率化		6.6%
保育の理念・方針		5.7%
子育て中の職員への配慮		4.3%
プライベートとの両立		3.3%
福利厚生		2.4%
上司の理解		1.9%
キャリアについての展望		1.9%
忍耐		0.9%
教育・研修の体制		0.5%
職場への通勤のしやすさ		0.0%
その他		0.0%

Q25 保育施設において保育士確保を進めるためには何が必要だと考えますか。

保育士確保に必要なことは「給与改善」が28.3%で最も多く、次いで「保育士の魅力発信によるイメージアップ」(20.8%)となっている。

保育士確保に必要なこと



	n	給与改善	保育士の魅力発信によるイメージアップ	業務負担の見直し	保育士の配置基準(人員配置)の見直し	職場間の人間関係の円滑化	休暇を取得しやすい環境の整備	出産、育児、介護との両立支援	ICTの推進	その他	新人保育士の育成・指導強化	教育、研修体制の充実	キャリアアップの仕組みづくり	業務の標準化、OJTの整備
全体	211	28.3%	20.8%	14.5%	12.1%	11.6%	5.8%	2.9%	1.2%	1.2%	1.2%	0.6%	0.0%	0.0%

その他の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 処遇改善全般 ・ 保育士配置基準の大幅な改善見直し

(9) 保育補助者・保育支援者の活用について

Q26 保育補助者は何人雇用していますか。

Q27 保育補助者が行っている業務はどのような業務ですか。

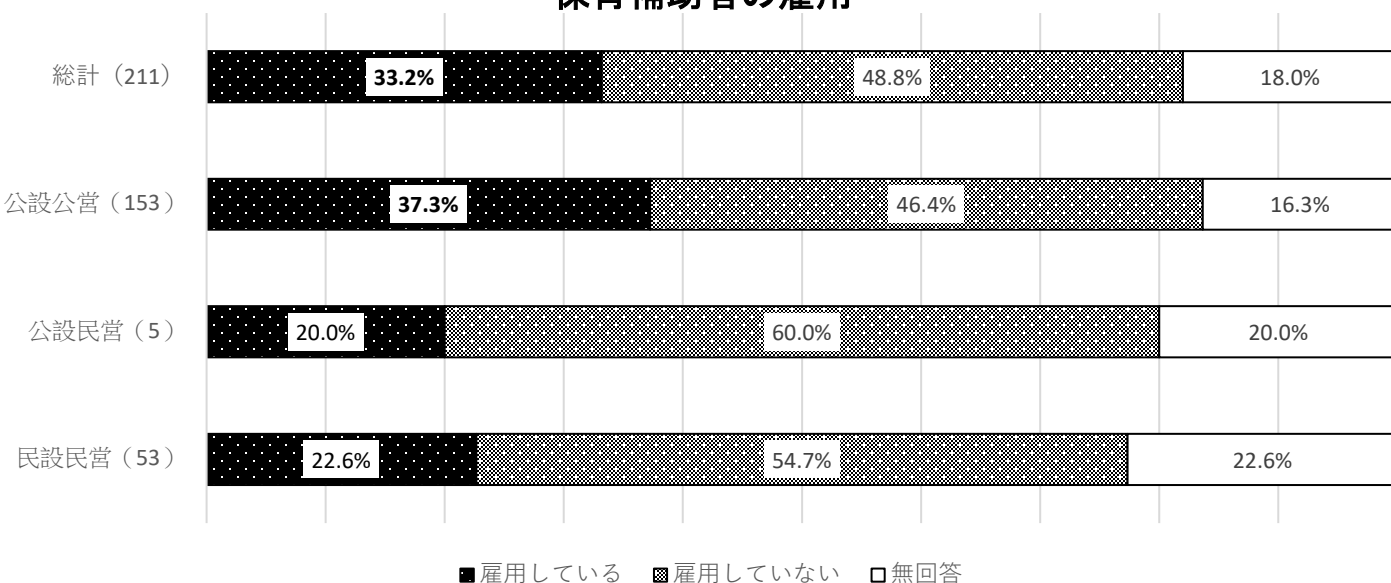
※保育補助者とは…保育士資格を有しておらず、保育に関する40時間以上の実習を受けたもの又はこれと同等の知識及び技能があると市町村が認めた者。

○保育補助者の活用状況については、全体で33.2%となっている。

業務内容としては「担任補助」や「早朝延長保育」等となっている。

※ 保育補助者とは…保育士資格を有しておらず、保育に関する40時間以上の実習を受けた者又はこれと同等の知識及び技能があると市町村が認めた者。

保育補助者の雇用



雇用人数	平均値	最大値	最小値
保育補助者	2.3	6	1

保育補助者の業務(自由記述)

保育補助者の業務 (自由記述)	
<ul style="list-style-type: none"> ・担任補助 ・早朝延長保育 ・未満児保育補助 ・支援の必要な子の見守り ・延長保育 ・未満児保育 ・つどいの広場スタッフ ・一時預かり保育 ・昼寝の見守り、複数担任 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの代替 ・延長保育 シルバーサポーター ・遅番業務補助 ・保育補助 ・バス添乗 ・掃除 ・保育士業務一般 ・保育士同等

Q28 保育支援者は何人雇用していますか。

Q29 保育支援者が行っている業務はどのような業務ですか。

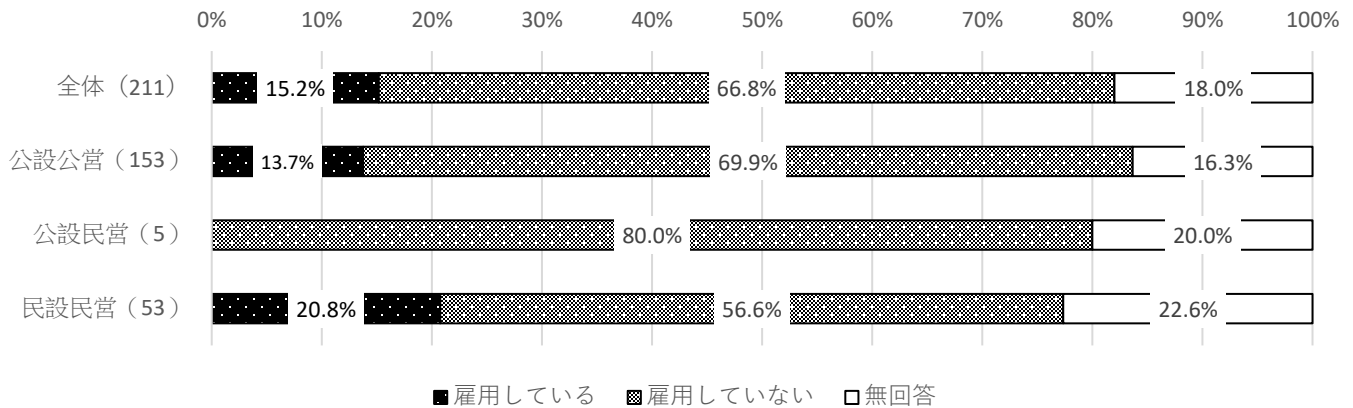
※保育支援者とは…保育士資格を有しない者で、保育に係る周辺業務(保育設備、遊ぶ場所、遊具等の消毒・清掃、給食の配膳・あとかたづけ等)を行うもの。

○保育支援者を雇用している施設は、15.2%となっている。

業務内容は、「保育設備、遊ぶ場所、遊具等の消毒清掃」が62.5%で最も多い。

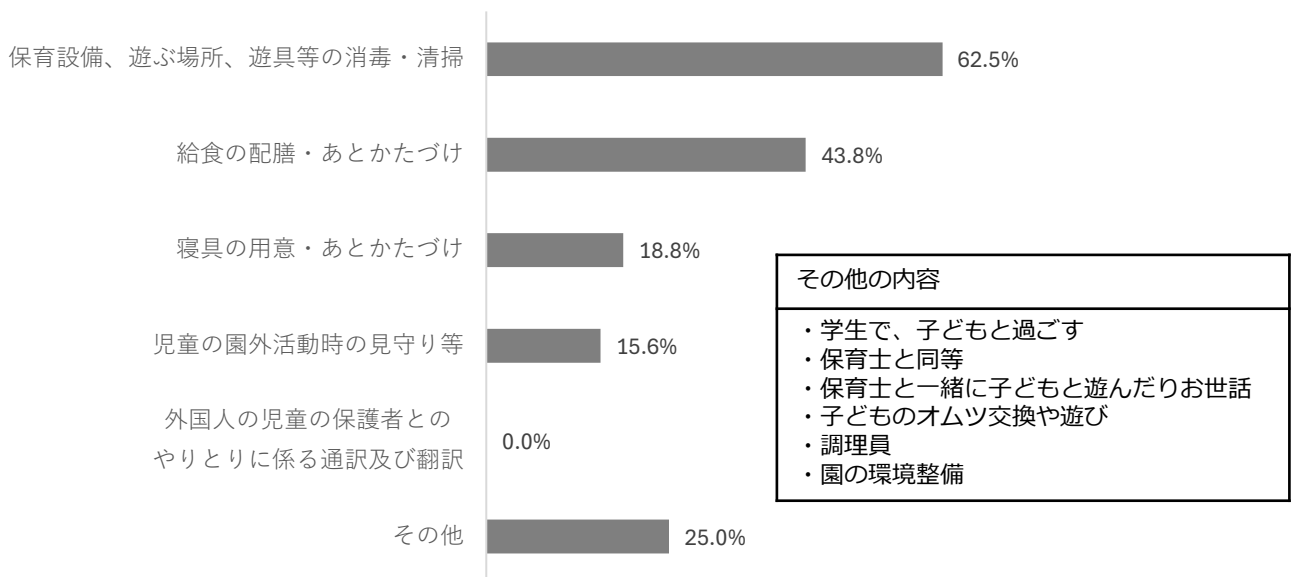
※ 保育支援者とは…保育士資格を有しない者で、保育に係る周辺業務(保育設備、遊ぶ場所、遊具等の消毒・清掃、給食の配膳・あとかたづけ等)を行う者。

保育支援者の雇用



雇用人数	平均値	最大値	最小値
保育支援者	2.8	14	1

保育支援者が行っている業務 (n = 32)



(10) 休暇の取得について

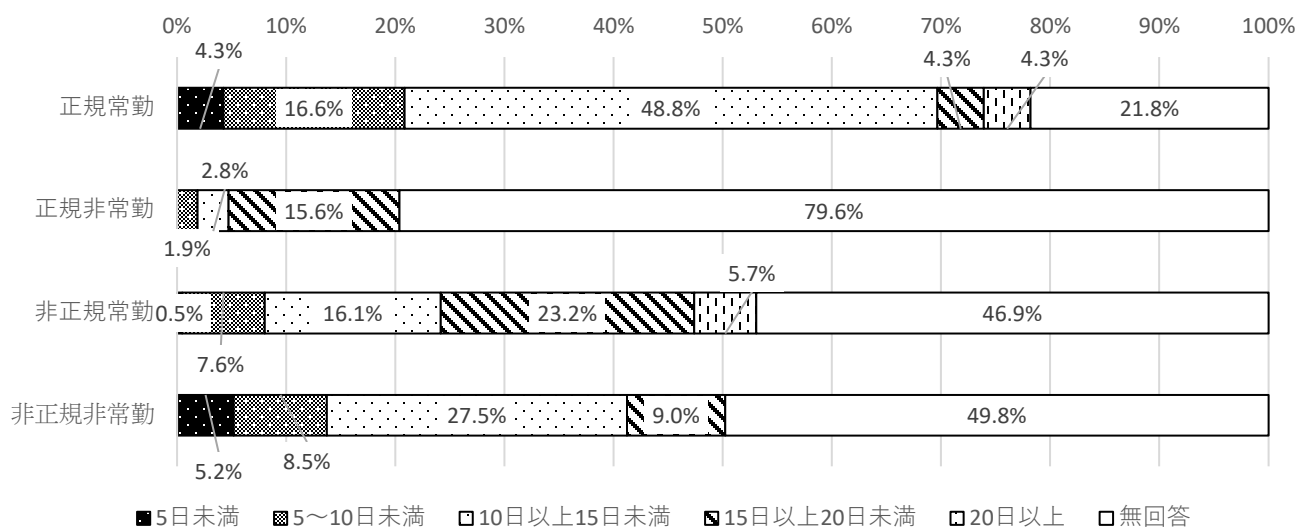
Q30 貴施設の保育士における平均有給取得日数をご記入願います。

正規常勤、非正規非常勤は無回答を除くと「10日以上15日未満」が最も多く、正規非常勤、非正規常勤は「15日以上20日未満」が最も多い。

保育士の平均取得日数は、正規常勤で10.6日、正規非常勤が13.7日、非正規常勤が13.5日、非正規非常勤が13.5日であった。

有休取得状況

n = 211



【正規・常勤】

	全体	公設公営	公設民営	民設民営
平均値	10.6	10.8	11.9	10.0
最大値	40.0	40.0	20.0	20.3
最小値	1.8	2.0	7.6	1.8
回答数	165	123	4	38

【正規・非常勤】

	全体	公設公営	公設民営	民設民営
平均値	13.7	14.4	10.0	9.6
最大値	15.0	15.0	10.0	15.0
最小値	5.0	8.0	10.0	5.0
回答数	43	37	1	5

【非正規・常勤】

	全体	公設公営	公設民営	民設民営
平均値	13.5	14.0	12.5	11.8
最大値	25.0	25.0	15.0	20.0
最小値	2.0	2.0	10.0	5.0
回答数	112	88	2	22

【非正規・非常勤】

	全体	公設公営	公設民営	民設民営
平均値	13.5	12.0	8.9	7.2
最大値	25.0	17.5	15.0	15.0
最小値	2.0	1.0	5.0	2.0
回答数	106	78	4	24

Q31 令和4年度中に出産した保育士、配偶者が出産した保育士数の合計をご記入ください。

Q32 令和4年度中に育児休業を取得した保育士数をご記入ください。

自身あるいは配偶者が出産した保育士がいた保育施設は正規常勤で16.5%であった。
 育児休業を取得した人数が一番多い施設で正規常勤が4人取得していた。
 育児休業者がいた保育施設は正規常勤で22.7%であった。

出産あるいは配偶者が出産した保育士数

	正規常勤	正規非常勤	非正規常勤	非正規非常勤
取得人数合計	56	2	8	2
1施設当たり最大人数	3	2	2	2
1施設当たり最小人数	1	2	1	1
出産者がいた 保育施設数 (n=211)	35	1	7	1
	16.5%	0.4%	3.3%	0.4%

育休取得状況

	正規常勤	正規非常勤	非正規常勤	非正規非常勤
取得人数合計	76	2	8	2
1施設当たり最大人数	4	1	2	2
1施設当たり最小人数	1	1	1	2
育児休暇取得者がいた 保育施設数(n=211)	48	2	7	1
	22.7%	0.9%	3.3%	0.5%

Q33 貴施設で定めている独自の休暇制度はありますか。ある場合はその内容を記入ください。(自由記述)

- ・誕生日休暇
- ・パパの産前休暇及び在宅ワーク認定制度
- ・積極的休息制度
- ・子の看護休暇の有休化と対象となる子の範囲の延長
- ・子の育児目的休暇の有休化と対象となる子の範囲の延長
- ・介護休暇の有休化
- ・月1日休暇を増やしている
- ・夏季休業
- ・感染症等の療養休暇
- ・子の看護休暇、子の育児目的休暇、生理休暇、家族愛休暇
- ・長期休業を有給に当てている
- ・休暇、時間給は事情に応じ取ることができる
- ・リフレッシュ休暇・感染症休暇
- ・勤続リフレッシュ休暇